

# 全船協

会報 152 号 2023年5月 春季号



大島商船高等専門学校校内練習船 新造「大島丸」



一般社団法人 **全日本船舶職員協会**

JAPAN MARITIME OFFICERS' ASSOCIATION

無料船員職業紹介所(国土交通省許可第8号)

URL <https://www.zensenkyo.com>

## 山友汽船株式会社

代表取締役社長 望月正信

〒650-0015 神戸市中央区多聞通2丁目1番1号  
TEL (078) 371-5505 FAX (078) 371-5520  
Email: info@sanyukisen.co.jp

## B&S ENTERPRISE

株式会社ビーアンドエス・エンタープライズ  
TEL (078) 361-6971 FAX (078) 361-6972  
Email: info@bands-k.com



## 北星海運株式会社

代表取締役社長 加藤由起夫

〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目1番5号  
セントラルビル6階  
電話 (03) 3275-5520(代) FAX (03) 3275-5575

## 一般社団法人 日本船長協会

会長 中村紳也

〒102-0083 東京都千代田区麹町4丁目5番地  
(海事センタービル5階)

電話 (03) 3265-6641  
FAX (03) 3265-8710  
http://www.captain.or.jp

## 一般社団法人 海洋会

会長 平塚惣一

〒102-0083 東京都千代田区麹町4丁目5番地  
(海事センタービル6階)

電話 (03) 3262-8632  
FAX (03) 3262-6909



一般社団法人

## 日本船舶機関士協会

会長 掛谷 茂

〒102-0083 東京都千代田区麹町四丁目5番地  
(海事センタービル5階)

電話 (03) 3264-2518  
E-mail: me-honbu@marine-engineer.or.jp  
URL http://www.marine-engineer.or.jp

## 人と海に未来を

## 公益社団法人 日本海難防止協会

会長 内藤忠顕

〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町33-8  
元代々木サンサンビル3F  
電話 (03) 5761-6050/ E-mail: 2231jams@nikkaibo.or.jp  
https://www.nikkaibo.or.jp

## 日本海事新聞

THE JAPAN MARITIME DAILY

試読・購読のお申し込みは  
電話 03-3436-3223 まで

https://www.jmd.co.jp/

## 海上の友

船員と船員家庭のタブロイド版新聞 毎月1日発行  
年間購読料 本体価格(5,916円) + 税 送料別

お申し込み  
お問い合わせ (公財)日本海事広報協会

〒104-0043 東京都中央区湊2-12-6  
電話 (03) 3552-5034 FAX (03) 3553-6580

- ・海技教育支援 ・奨学金
- ・帆船「海王丸」体験航海・海洋教室 等

## 公益財団法人 海技教育財団

会長 池田潤一郎

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-4

電話 (03) 3288-0991 https://macf.jp

ラッシング・チョッキング資材の総合サービス

## 株式会社ウシオ

100th  
ANNIVERSARY  
since 1920

代表取締役社長 牛尾 雅英

〒652-0813 兵庫県神戸市兵庫区兵庫町2丁目3番27号

電話 (078) 652-2065 / FAX (078) 652-2070

http://ushio-kk.co.jp

東京/横浜/常陸那珂/名古屋/大阪/和歌山/加古川/門司/福岡/香港

# 目 次

表紙・・・大島商船高等専門学校校内練習船 新造「大島丸」

巻頭言 大臣と練習船.....代表理事・会長 広重 康成 ... 2

新・大島丸の海上試運転報告.....大島商船高等専門学校 商船学科長 千葉 元 ... 4

船の日常点検用途におけるドローンの利活用について  
..... NTTコミュニケーションズ株式会社 ... 7

海から届ける写真展@大黒湯他.....理 事 松 見 準 ... 9

「霧島丸遭難慰霊碑」の美化清掃活動に参加して.....終身会員 七 呂 光 男 ...18

C号航海記 (第1回).....内海水先区水先人会水先人 会員 栗 阪 肇 ...24

南寮・北寮(白菊寮)時代の思い出.....鳥羽商船 昭和44年機関科卒 竹 内 大 助 ...29

**北から南から**

富山高等専門学校 .....33

鳥羽商船高等専門学校 .....38

広島商船高等専門学校 .....44

大島商船高等専門学校 .....48

弓削商船高等専門学校 .....54

海技教育機構 .....59

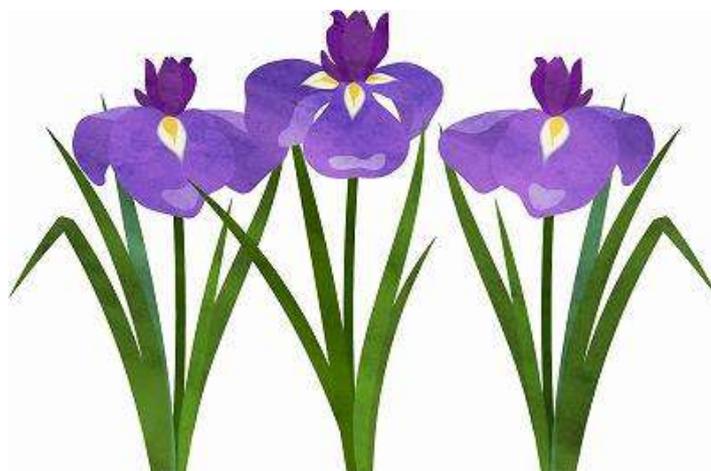
次世代の海洋産業人材の育成に向けて..... 事 務 局 ...62

本部・支部だより ..... 事 務 局 ...65

賛助会員名簿 ..... 事 務 局 ...66

会費納入者名簿&新規入会者..... 事 務 局 ...67

時事寸評・表紙写真解説 ..... 事 務 局 ...68



## 巻頭言

# 大臣と練習船

代表理事・会長 広重康成



春の陽射しが心地よい素晴らしい好天に恵まれた令和 5(2023)年 3月 19日、大島商船高等専門学校には永岡桂子文部科学大臣をお招きして、大島丸竣工記念祝賀会が挙行されました。

紙面をお借りしてその模様をご報告させていただきます。

永岡大臣は前日、阪神甲子園球場にて選抜高校野球の開会式に出席され、始球式ではナイスコントロールの白球を投げられました。そして遠路、周防大島に初めて足を運んで頂き、生まれたばかりの校内練習船をご自分の目でご覧になったのでした。

もちろん大臣が自ら希望されて竣工式に臨まれたわけではありません。海事振興に熱い参議院議員、赤池誠章(あかいけまさあき)内閣府副大臣の働きかけがあったからこそ実現したのです。

高専とは何か、その中の商船高専とは何を目的としているのか、さらに校内練習船とはどのような物体なのか、その中身は、実習の成果は、等々を理解するために今回の来校となった次第です。

体育館に於ける記念式典では永岡大臣による祝辞を、いの一に頂戴しました。商船高専の持つ将来性を述べて頂きましたこと、喜びに堪えません。

式典の後は大島丸の内覧会です。驚きました。

栈橋が新しくなっていて、赤い絨毯が敷き詰められているではありませんか。まあ空の青と絨毯の赤、大島丸の白い船体が見事にマッチしてただ歩いているだけで気分が徐々に高揚しているのが分かります。



乗船前にテープカットが行われました。永岡大臣を中心に赤池誠章副大臣と並んで頂き、大島丸に貢献された方々も続きます。我が全船協の前会長、酒迎和成理事も、テープカットに選ばれていました。至極当然のことです。

船内に導かれて驚きました。広いのです。今までの大島丸がやや小さかっただけに、ゆったりしていて、開放感があります。更に新造船特有のペンキ臭さが全くありません。私は体質的に塗り立てたペンキ臭が苦手で、それだけで船酔いしていたものですから技術の進歩には脱帽するしかありません。



ブリッジには電子海図が設置されていました。私たちの時代には名前すらなかった設備ですので興味深く見させて頂きました。機関室はリチウムイオン電池で推進するため油臭

さは一切ありません。聞くところによると電池推進のため振動が殆どないということで、当初設置されていたブリッジ内の振動止めの柱は切断されてしまったそうです。

学生居室は室内の配色がコーディネートされています。ミカンの島のオレンジ、海のブルー、夜明けのベージュ、夕日のブラウンの4色がカーペットとカーテンに統一されているのです。おしゃれでしょう。こんな環境なら何ヵ月でも乗船したくなると思います。

また、部屋の通路側のドアにはハワイ語と共に、波や星や木や風などのデザインが描かれています。これは卒業していく6年生のアイデアを取り入れた結果だそうです。乗ることはできなかった最上級生の素晴らしいプレゼントに感心しました。

大島丸が3学科全ての学生のために、有効に活用されますことを期待します。永岡大臣のご訪問に感謝しつつ、大島丸のご安航を切に願い、残る4校の練習船誕生を楽しみにしながら、結びとさせていただきます。ご安全に！

## 新・大島丸の海上試運転報告

大島商船高等専門学校 商船学科長 千葉 元

2022年3月1日に起工式を行い、10月13日に命名・進水式を迎えた「大島丸」は、引き続き三菱造船株式会社下関江浦工場で艀装工事が行われておりました。そして、実際に海上に出るの試運転及び各所調整が、以下の3回に渡り行われました。

- ・海上予行運転 (2022年・12/26～12/28)
- ・海上公試運転 (2023年・1/16～1/18)
- ・観測海上運転 (2023年・1/31～2/2)

写真1～3は、海上予行運転の12/26の状況です。この日は小職、当会報にて建造過程記録の報告を行っている、当校の本庄技術専門職員、専攻科の三浦学生、吉村学生と協力して、造船所の出港～関門海峡航行までの写真撮影を試みました。ここで、艀装工事が完了し、仕上げ塗装も成された、新たな大島丸が出港していき、関門航路を通過していく優美な姿を見ることができました(写真4)。

こうして、海上予行運転、海上公試運転が順当に行われ、各種の機器の稼働状況の確認及び調整等が実施されました。そして、小職も、観測海上運転に乗船する機会を得ましたので、この報告を、写真5～10に掲載させていただきます。これまでの試運転は、周防灘で行われましたが、今回の試運転は、初日は日本海側に出て実施されました。これは、水深が約100mを越える海域で、超音波観測機器等の性能の見極めを行いたい目的もありました。この日は、まず喫水計測を行ってから、1030に出港しました。そして、関門航路を抜けて、まずは昔ながらの磁気コンパスの修正が実施されました。



写真1:三菱造船下関江浦工場にて、12/26の0715 出港に向けて準備中の「大島丸」(船首より)



写真2:同上(船尾部、ファンネル周り)



写真3:タグボートに支援されて出港

そして、航海、機関、観測機器等の各種の試験及び調整が、順次に実施されていきました。船橋では、操舵機器や定点保持システムの性能確認が成されていました。

そして、機関室内もつぶさに見させていただきましたが、電気推進や操舵機等の機器が、非常に学生の学習に理解しやすく配置されていることを感じました。ここでは、小職が夏場の炎天下時に、ブロック検査や水気密検査等でつぶさにチェックを行わせて頂いた外板やフレーム等の構造材に再会をすることができて、非常に感慨深く感じました。

この後、最終仕上げ工事や各種調整が行われ、3月中旬に竣工・引き渡しとなります。



三菱造船を出港し左回頭で航路に進入



関門航路を初航行～関門海峡を東航して周防灘へ



写真4:三菱造船下関江浦工場を出港して関門航路を初航行する「大島丸」  
(専攻科 電子・情報システム工学専攻:三浦聖学生、吉村勇輝学生による撮影)



写真5:観測海上運転出港時の船橋  
(造船所のドックマスター他の職員による操船)



写真 8:船尾甲板より船首に向けて  
(周防灘にて各種操縦性能試験を実施中により、RU1 旗を掲揚)



写真 6:学生食堂兼教室  
(ここで乗船者の食事、各種の試験の打ち合わせや講評を実施)



写真9:機関制御室  
(造船所の機関・電装担当職員による各種機器稼働状況の監視及び性能確認)

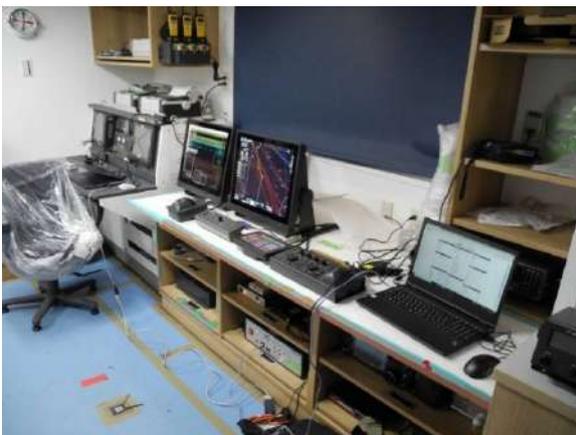


写真7:船橋後部の観測機器(右側)、無線通信機器(左奥側)(各種の海上稼働状況試験を実施)



写真 10:操舵機室  
(各種操船試験の際にゲートラダーによる 2 操舵機のスムーズな動作を確認)

## 船の日常点検用途におけるドローンの利活用について

NTTコミュニケーションズ株式会社

### ○ドローンのご紹介

NTT コミュニケーションズ株式会社から船の点検用途にご利用可能なドローンのご紹介をさせていただきます。

弊社では Skydio, Inc. (以下 Skydio 社) のドローンを提供しており、様々な業界における業務効率化を推進しています。



<6つのナビゲーションカメラ>

### ○Skydio 社について

Skydio 社は 2014 年に米国で設立されたドローンメーカーです。AI 技術を用いた自動・自律飛行に強みを持ち、米国内でも国防省の指定機種に採用されるなど公的機関でも利用されています。近年では米国内にとどまらず、日本での利用も進んでいます。弊社では 2020 年に NTT ドコモ・ベンチャーズより Skydio 社へ出資をしています。

### ○特徴

Skydio 社ドローンの最大の特徴は「ぶつかりづらい」ことです。

ナビゲーションカメラと呼ばれるカメラを機体の上下に 6 つ搭載し、常に周囲の状況を確認、計算しながら飛行します。

そのため、**360 度全方位障害物回避機能**を有し、GPS が取得しづらい場所でも安定した飛行が可能となります。

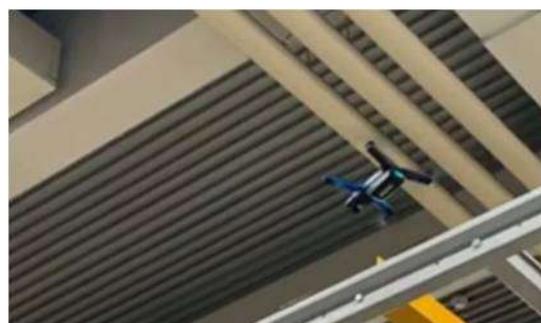
また、**自動飛行・撮影**を行う機能もオプションメニューとして搭載可能なため、ドローンの操縦に慣れていない方でも安心して飛行を行うことができる機体です。

### ○活用事例

橋梁や発電設備などのインフラ設備点検、建設現場や倉庫の巡回用途での導入が進んでいます。



<橋梁での飛行>



<倉庫内の巡回>

Skydio 社ドローンを活用していただきやすい事例としては 3 つございます。

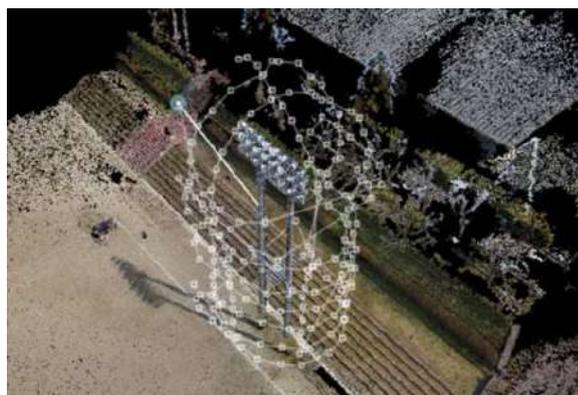
- ・点検のために足場を必要とする現場
- ・定期的に同じ場所を目視確認する現場
- ・GPS が取得しづらい現場

大型船の点検においても多くの人手を必要とすることから、Skydio 社ドローンを活用していただくことで、**カーゴホールドの外壁撮影**など日常点検の効率化や安全性の向上が見込まれます。

### ○自動飛行・撮影(Skydio 3D Scan™)

Skydio 3D Scan™は複雑な構造物をあらゆる角度から自動的・自律的に飛行しながら撮影を行うことができる飛行支援ソフトウェアでオプションメニューとして追加可能です。**撮影対象物の上面、下面、幅を設定する簡単な操作で自動飛行・撮影を開始**します。

撮影中はパイロットの操縦は不要なため、パイロットの技術に依存せず、効率的に船の撮影を行うことが可能です。



<Skydio 3D Scan™を利用した飛行ルート>

さらにSkydio 3D Scan™を用いて撮影した静止画を画像解析ソフトで解析処理を行うことで 3D モデルの作成も容易となります。

米国ではSkydio 3D Scan™を用いて船の撮影を行い、3D モデル化までを実施する事例がございます。

3D モデル化を実施することで損傷箇所の確認にも役立つことが見込まれます。



<船の 3D モデル化>

### ○導入後のサポートも充実

弊社ではドローン導入後のサポートメニューも提供をしています。弊社からご購入いただいたお客様には最新のアップデート情報などを日本語でまとめた運用ガイドを提供させていただいています。

また、お客様の現場に伺い、飛行のアドバイスをさせていただく「フライトサポート」も提供しており、ドローンの操作に慣れていないお客様にも安心して飛行できるようご支援させていただいています。

弊社サービスを通じて、お客様の業務効率化の一助となれば幸いです。

### ○参考動画

・ Skydio 社ドローンのご紹介



・ Skydio 3D Scan™のご紹介



### ○問い合わせ先

NTT コミュニケーションズ株式会社  
プラットフォームサービス本部  
5G&IoT サービス部  
ドローンサービス部門  
Infra-drones@ml.ntt.com

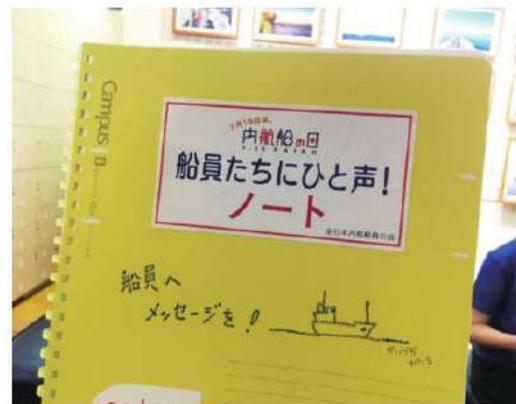


## 海から届ける写真展@大黒湯

第7回内航船の日記念（写真展は第5回目） 2022年7月15日～31日

東京下町、墨田区の人気銭湯のロビーで開催することで、毎年多くの老若男女が初めて「内航船」という言葉を知ります。

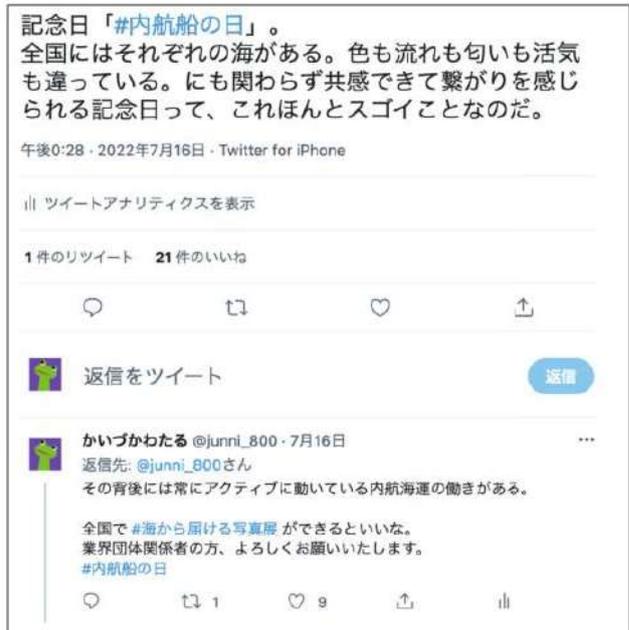
現役の船員たちから届いた写真を見ながら、海運に親しみを感じてもらい、物流の実績から見えてくる市民生活を連想してもらいます。すると、産業の課題、人手不足からカボタージュ政策までも共通の課題となっていました。そこには悲観的というよりは、現実を知った者の「強さ」が残りました。島国住民としてのライフスタイルを意識した瞬間から、多くの方が海運の応援団になります。船を見る機会がない人に船の存在を紹介することは、海運産業の社会的責任ではないかと考えることになりました。（全船協 理事 松見 準）



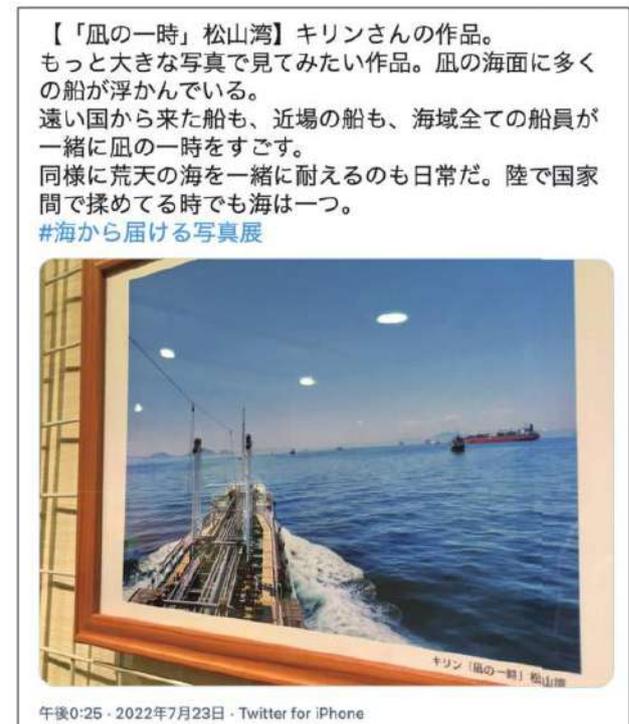
\*大黒湯（東京都墨田区横川 3-12-14）

## SNS のツイートで「内航海運」をより身近な存在に。

ツイッターによる写真展の告知は、そのまま海運産業のPRに。また、「内航船の日」という社会性の強い記念日の性質は、海洋の真ん中に暮らす私たち島国住民の「真実」へと導きます。



## 写真展の作品に、「内航海運と市民社会の価値」を創出し繋がります。



≫ 続き

【「生活の立役者」東京湾木更津沖】オレオさんの作品。  
海側から島国を見る。市民生活の舞台裏の現実に人間のパワーを見る。  
現実を見ながら「想像力」を働かせたい。このパワー、ほんの少しベクトルを変えてみるだけで良くも悪くもなる。

#SDGs  
#海から届ける写真展



午後9:44 · 2022年7月23日 · Twitter for iPhone

【「流氷航海」釧路港】しろこさんの作品。  
今日も危ない暑さなのでコチラ！  
釧路港で撮影の氷の海。  
船の仕事が大自然の中での仕事であることが非常に分かりやすい。

大自然の中、つまり他にも分かりにくい要素についてもイレギュラーが多い環境という意味です。  
#海から届ける写真展 #内航船の日



午後1:21 · 2022年7月24日 · Twitter for iPhone

【「これから船と夜勤」遠州灘】daiさんの作品。  
荷役設備が付いている種類の船は頼もしさムキダシだ。  
目の前の広大な海と空が次第に闇夜に染まっていく夕刻。高まっていく緊張感。夜の海の真ん中「これから船と夜勤」。  
ひとり当直の気持ちが伝わってきます。

#海から届ける写真展 #内航船の日



午後9:37 · 2022年7月24日 · Twitter for iPad

【「港から港へ 島から島へ」甌島列島沖】大吟醸船長さんの作品。  
島々を通り抜け遠い南の島の港まで走り続ける「大峰山丸」。  
大吟醸船長は、不便でつまらない海上での生活を楽しく変えるのは船員自身と説く。その責任を一身に背負い旨い魚が釣れる錨地を探すのだ。

#海から届ける写真展 #内航船の日



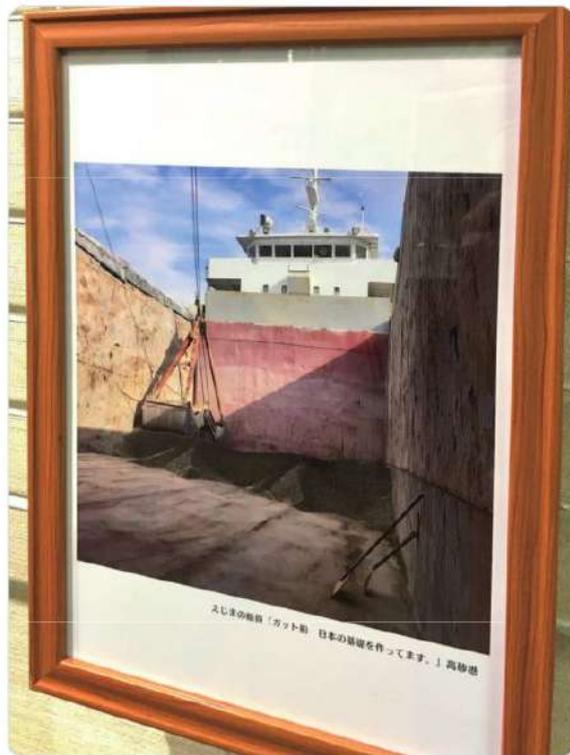
午後9:53 · 2022年7月25日 · Twitter for iPad

【「夜の部スタート」千葉県君津】古い水夫さんの作品。  
眠らない港にこれから入っていくところでしょうか。  
よく見ると乗組員たちの姿も見えます。  
陸の人間の営みまで自然のムードに馴染んでみえる風景の中で、鉄の船体と浮かぶ。  
#海から届ける写真展 #内航船の日



午後2:34 · 2022年7月26日 · Twitter for iPad

【「ガット船 日本の基礎を作ってます」高砂港】えじまの船員さんの作品。  
砂利などを運ぶ船の船倉から。右側には人が使うシャベルが見える。  
まさに日本中の基礎を作ってきた。誇らしく語る船員。  
そこにはちゃんとシャベルがある。こうして島国は成長してきた。  
#海から届ける写真展 #内航船の日



午後3:57 · 2022年7月29日 · Twitter for iPhone

【「山と街と船と」海ぼたる沖】錆打ちマスターさんの作品。  
富士山の手前に見えるのは横浜の街ですね。そして働く船。

なるほどなあ、陸の人が暮らしの中で「山と街と船と」とイメージする日を想像する。夢のような海洋文化社会。でも、これ夢でなく現実なのだ。  
#海から届ける写真展 #内航船の日



午後5:38 · 2022年7月26日 · Twitter for iPad

【「今きれいにしてやるからな...業者が。」】甲羅もちさんの作品。  
前回の写真展に続きモノクロでドック中を撮影した作品。  
ドック内は船員にとっても非日常。ダイナミックな世界に船体整備のプロ中のプロが沢山いてドラマチック。モノクロにしたくなるの分かる！  
#海から届ける写真展 #内航船の日



午前11:59 · 2022年7月28日 · Twitter for iPhone

➤ 続き

【「熊野灘の朝なんダナ〜」】 sarahaさんの作品。  
 船員は何度も何度も優しい美しい海の景色に励まされる。  
 ただ、船には、人ではかなわない重圧に耐えるための古タイヤが、ゴツゴツとした鎖でぶら下げられている。  
 海が優しいばかりでないことは十分に知っている。  
 #海から届ける写真展 #内航船の日



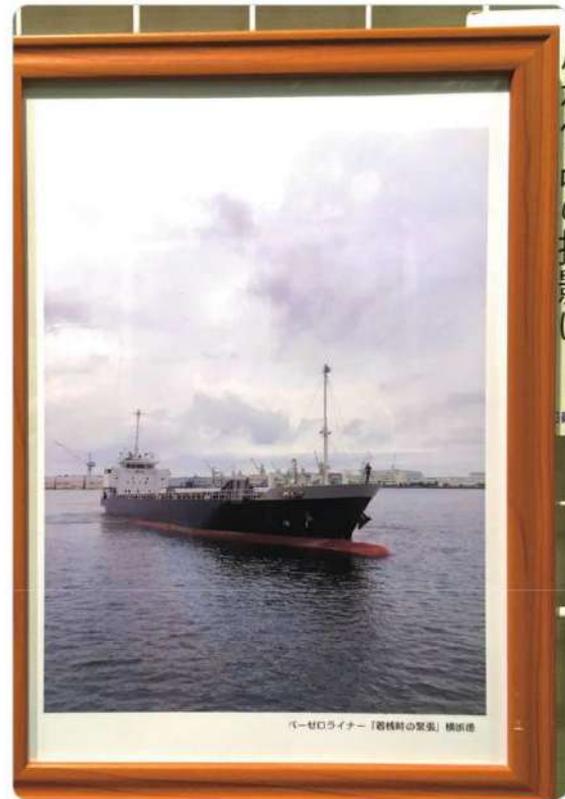
午後4:13 · 2022年7月29日 · Twitter for iPhone

【「夜明け前の貨物船」】 しがらきの船乗りさんの作品。  
 一見、よくある内航貨物船に見えても専用船だったりする。  
 鉄鋼、石油、ケミカル、石灰石、セメント...それぞれ専用岸壁に着ける内航船ばかり。  
 内航船。効率のいい物流を実現しています。  
 #海から届ける写真展 #内航船の日



午後6:38 · 2022年7月30日 · Twitter for iPhone

【「着岸時の緊張」横浜港】 パーゼロライナーさんの作品。  
 船体をしっかり制御しながらデッドスローで近づいてくる。  
 船首で全体を把握しマイクで全船員に状態を報告していく一等航海士。  
 潮流を感じ、風を感じ、一歩前を予測し、各部署の能力を信じ合う。今も昔も。  
 #海から届ける写真展 #内航船の日



午後3:33 · 2022年7月31日 · Twitter for iPhone

【「黎明」高知沖】 ぼーやさんの作品。  
 すべてがまた1から始まるのが朝であることを知らせる朝。気持ちいい。それでイヤ。  
 少数定員の船内。もうちょい乗ってみるかな。そんな感じで乗り続けている船員だっている。  
 #海から届ける写真展 #内航船の日



午後6:27 · 2022年7月31日 · Twitter for iPhone

■ >> 続き

【「燃料キター」関門港】kさんの作品。  
 感じてほしい、この朝の空気感。本船に燃料を届ける  
 ためにトコトコトコとやってくる。そして先頭で  
 オジサンがロープを持っている。  
 よし！まずはロープで繋がろう。  
 ありがとう。陽が登ってきた。  
 #海から届ける写真展 #内航船の日



午後0:36 - 2022年7月30日 - Twitter for iPad

【「仮バース、黄昏時」】Capt.miracle.Nyangさんの作  
 品。  
 黄昏時にみる船のシルエットには、太古の人類が感じ  
 たのと同じ挑戦の魂や自然界への畏敬の念が詰まっ  
 ている。  
 陸の人と一緒に見たい。ここは島国。  
 #海から届ける写真展 #内航船の日



午後10:28 - 2022年7月31日 - Twitter for iPhone

【「青空の下でホーサ補強」鹿島沖】しろこさんの作  
 品。  
 テレビで天気図をみた時、ニュースで船をみた時、物  
 流の課題を聞いた時、いつも船員の姿を思いだしてほ  
 しい。  
 私たちは間違いなく島国の仲間として多くの問題を乗  
 り越えていく。  
 #海から届ける写真展 #内航船の日



午後10:15 - 2022年7月31日 - Twitter for iPhone

【「虹のトンネル」三原瀬戸】ショツベさんの作品。  
 船員の中に虹をくぐった者はいない。  
 この先、遠隔で船を動かす者が現れた時には、正確な  
 虹の位置を割り出し、くぐったと言う者も現れるかも  
 知れない。  
 虹をくぐれない船員にこそ信用があることに気が付く  
 日だ。  
 #海から届ける写真展 #内航船の日



午前1:07 - 2022年8月1日 - Twitter for iPhone



## 海運産業の側からも応援をくれる市民社会へ寄り添う。

下段枠のツイートを引用する形で広く紹介し、上段で海洋文化社会を呼びかけています。

**かいづかわたる**  
@junni\_800

ホントにそう。  
どんなに辛い時も市民生活を支えているんだという誇りで頑張っている。  
生活が豊かになり都市に発展していくたびに港湾は大きく拡張されて、どんどん町から見えなくなっていく。  
**#内航船の日**、今日はみんなと一緒に。(全日本内航船員の会)

**大吟醸船長 @capttsune** · 7月15日  
#内航船の日という記念日を通じて日常生活に不可欠な海の上の世界にほんの少しでも目を向けて頂けるだけで我々船員は救われる思いです。  
[youtu.be/dLH85-lvWw4](https://youtu.be/dLH85-lvWw4)



午前8:18 · 2022年7月15日 · Twitter for iPad

休暇が写真展と重なった船長が、会場の東京・墨田区の銭湯に駆けつけました。

**かいづかわたる**  
@junni\_800

大吟醸船長 (@capttsune)、#海から届ける写真展 来てくれましたー！  
お花も、ありがとうございます！！#内航船の日



午後6:59 · 2022年7月25日 · Twitter for iPhone

ツイートアナリティクスを表示

件のリツイート 111 件のいいね

大吟醸船長からのメッセージ。  
「海で孤独に働く船員にとって「見てもらう」だけでとても大きな励みになります」

ほんと。その通りです。  
陸側の海運関係者には、見えないところで働く船員や船が社会を構成する仲間である事実をPRする責任があるのではと思います。  
**#海から届ける写真展 #内航船の日**

「海で休暇と重なり「海から届ける写真展」へやってきました。海で孤独に働く船員にとって「見てもらう」だけでとても大きな励みになります。見て頂いた方々、ありがとうございます。誇りと遊び心を大切にこれからも「内航船」をより多く応援します。この海ではなく、おける海でありたい。」  
大吟醸船

午後11:11 · 2022年7月28日 · Twitter for iPhone

「陸側で海運に関わる者には、市民から見えない場所で仕事に励む船員や船が社会を支えている仲間である事実をPRする『責任』があるのではないか」

昨年「海から届ける写真展@大黒湯」は、新型コロナウイルスのために3年ぶりの開催となりました。その間も、海上では内航船は休まず市民社会を支えており、内航海運を写真展で紹介できないことは本当に悔しいことでした。振り返れば、これまでは大震災や豪雨災害などの度に、内航海運の活躍を紹介していました。

本来ならばエッセンシャルワーカーとして認識されるべき船員たちにワクチン接種が進んでいない状況が浮き彫りになった時にもショックを受けました。しかし、実態をツイッターで発信したところ、記念日「内航船の日」で繋がってきた全国の一般の方たちが、次々とSNSを使って船員へのワクチンの接種体制を求めてくれたことには気持ちが救われました。

日頃から、内航海運が物流で果たしている実績や社会的な重要性を発信していくことの大切さはもちろんですが、海上で仕事に励む「船員たちの人間味」が伝わってこそ、望める産業の未来もあると感じました。

物流政策や海事政策が議論される時には、一番小さな単位でも「一隻」の船単位であることが多い。しかし、そこに個々の個性的な船員たちをイメージできていなければ、当然、血の通った温もりのある方策にはなり得ない。

「海から届ける写真展」では魅力的な船員たちの個性が見えてきます。様々な船員を知って、Twitterで本人のアカウントを見つければ、彼らも常に私たちと同じ時を過ごしています。時に、愚痴をこぼし弱気になったり、自慢話でいい気になっていたり、急に真面目に島国の海上物流の責任感を語っている。現代ではそんな船員たちの等身大の個性を陸へ伝えることこそが、船員という職業への憧れにつながっていくと考えます。

数年前までは、海運の重大な社会的役割

をアピールしたり、日本人船員のガチガチな優秀さを広報することが、産業のピーアールの中心でしたが、ソーシャルメディアによる新しい文化の広がりによって、個々人の顔が見える社会性や人間味に、産業への親しみや信用を感じ取る時代に入っています。

今回、誌面にて「海から届ける写真展@大黒湯」の写真作品を、Twitterで実際にツイート発信したコメントと共に紹介させていただきました。これらのコメントは、毎年「大喜利」のように対応して発しているものです。

面白い発見があります。「海洋」には、実にあらゆる角度、色々な観点からのコメントが差し込めるという事実です。「海」は特別。そのことをいち早く知れることも、島国に住む私たちの特権かもしれません。

文部科学省の高橋洋子氏（主任教科書調査官）を訪ねました。「海を考えるとということはどういうことなのか」について彼女の持論。

海洋教育のあるべき姿というのは、「横断的・総合的な学習の時間である」。社会科に限らず、理科や生活科、国語や図工で行ってもかまわないが、最終的に「海洋」をプラットフォームとして紐づけること。それは単に知識ベースのことだけでなく、「多面的・多角的な見方」、あるいは「社会的見方・考え方」を育てるという観点から取り上げることができる。

私は、毎年、写真展を開催して来て、ようやく大きな意味での「海」の価値を知ることになりました。そこで広く周知したいと考えます。

「海から届ける写真展」は、個人で開催している小さな写真展ですが、「海運現場」と「市民社会」との貴重な「リアル世界の接点」として全国で展開したいと願っています。

（理事 松見 準）

# 「霧島丸遭難慰霊碑」の美化清掃活動に参加して

終身会員 七呂 光雄

## I 活動の概要

10月16日(日)9時から鹿児島大学水産学部内にある鹿児島商船学校練習船霧島丸の海難慰霊碑周りの美化清掃活動が、海洋会鹿児島支部が主体となり約25名が参加し実施された。大島商船同窓会小松会鹿児島支部も積極的に本企画に参加し、私も小松会に便乗し全船協会員として横浜から参加した。



取材陣も駆けつけた中で清掃の他、慰霊式典(献花・献杯)や式典後には、参加者全員で慰霊碑を囲み、弁当を食べながら懇談の場が設けられ13時頃終了した。霧島丸海難から100年目を4年後に迎えるにあたり、このような活動が今後も継続され各所属団体の枠を乗り越えて海の仲間が意気投合する事を期待し今回活動の準備手順や今後に向けての留意点等について私が思うところを述べ報告いたします。

：主な関係者の氏名・役職等

本活動を説明するには、多くの団体や個人が関与しており、今回の件でお世話になった方々に感謝の意を込め紹介いたします。

### A 大学側

- ・鹿児島大学水産学部  
(佐久間美明学部長、藤枝 茂センター長特

任教授)

- ・同学部同窓会  
魚水会(岩元喜巳会長、辻口忠男事務局長)



### B 作業活動参加側

#### 1) 海洋会

- (今村洋一鹿児島支部長)  
(神田一郎海洋会理事、元航海訓練所)

#### 2) 全船協

- ・大島商船高専同窓会小松会  
(堀之内 仁 鹿児島支部会長 N67)
- ・元 鹿児島商船学校同窓会  
(野元 準之助元会長、大島商船にも在籍)
- ・全船協 (七呂光雄終身会員 広島 N69)

#### 3) その他多くの会員・会友に参加いただいた。



## II 霧島丸遭難と慰霊碑等の歴史的流れ

- 1 鹿児島商船学校練習船霧島丸遭難と 史実広報の結果

1) 鹿児島商船学校は全国に有った公立商船学校 11 校の一つだが、練習船霧島丸が昭和 2 年 3 月 9 日 (1927 年) 犬吠埼沖で荒天のため遭難し、船長以下 53 人全員が犠牲となった。

2) これが切掛で、頑強で安全な練習船の建造を求める機運が全国に広まり、昭和 5 年 (1930 年) 相次いで帆船日本丸/海王丸両船建造と全船協/航海訓練所の前身創立に繋がった。史実について色々な出版物や全船協創立記念事業でも広く紹介され、また全船協 HP でも閲覧できる。是非ご覧頂きたい。

3) 昭和 21 年(1946 年) 鹿児島商船学校が廃校となり、当時の在學生は大島商船に転入し双方の学校に在籍した特異な学校生活となった。

#### 4) 鹿児島商船学校同窓会の解散

同校廃校後も同窓会は存続していたが、十数年前会員の高齢化で生存者も少なくなり解散して資料等を全船協が引継いだ。なお最後の会長野元氏は、93 歳で今でも夫婦共々お元気で、今回の美化清掃作業にも参加されテレビ局や新聞社の取材を受けられた。



#### 5) 練習船寄港中の慰霊碑訪問

日本丸及び海王丸の建造に霧島丸遭難の史実が深く関係する航海訓練所 (現在、海技教育機構) は、鹿児島大学水産学部校庭の敷地内に変わりなく手厚く祀られている霧島丸慰霊碑の存在を知って、練習船が鹿児島に

寄港した際には、表敬訪問し御霊に安全運航を誓う機会を

設けている。過去

には、練習船の訪

問が行われていたようにも聞くが、長年忘れられており、この実現には、霧島丸慰霊碑の存在を全船協の広報 (50 回忌や全船協創立 80 周年記念事業) から知ることになって、即行動を起こされた航海訓練所の方々の努力が大きい。さらに大島商船の学校練習船も寄港して慰霊参拝している。



#### 2 遭難慰霊碑と遭難事実風化への対応



1) 霧島丸遭難を契機として昭和 5 年記念館が建設され昭和 30 年頃まで存在、その後管理棟で、次のような物が保存されている。

- ① 日本丸模型 日本丸建造と同時に“靱山艦船模型製作所”で作成され当初船主である**文部省**に置かれていた。同学部前身



校の山本校長は、国内各地の水産系新設校開設の為に文部省に度々訪れ、模型は日本丸建造の切掛となった鹿児島のある地であってこそ意義があるとして遂に貰い受けられた。戦後間もない時期にガラスケースに入った模型の移送は、移送する船の堪航性の関係で他大学練習船も関与する中で荒天の影響や揚地もお粗末で沖からボートで降ろす等悪戦苦闘しながら遂に昭和24年年明け早々同学部に入った。ちなみに海王丸模型は、海洋大越中島で保存されている。



- ② **壮烈の額** 霧島丸の遭難に関連した写真が、一枚物になった海図大の額で霧島丸の船影と白濱船長の写真や犠牲実習生等の氏名・遺影、その他関係諸々の写真が収められ、東郷平八郎元帥直筆の“壮烈”と云う文字により、自然と合掌する気持ちにさせられる。
- ③ **霧島丸遭難慰霊記念碑** 香川県高松市東部の庵治町・牟礼町でのみ産出される高級石材庵治石を使用して、昭和4年に建立され前項の額と同じく“**壮烈**”の文字が刻まれている。日本船舶海洋工学会から平成30年に“練習船の革新を促した海難事故を今に伝える造船関連資料”として「ふね遺産」認定を受けている。



2) 遭難から80年位過ぎた頃同大学学生や関係者でも、この記念碑等について知る者が少なくなり、同学部教授松野保久先生(当時)から「説明文」のような看板を掲示したいと平成21年(2009年)全船協に提案があった。

3) この結果同学部の同窓会魚水会(現岩元善巳会長)と全船協双方が説明碑を建立し掲示する事を各総会一致で決定した。これを受け、提唱者松野先生を中心に「説明文碑」の構想の具体化を進め、御影石の基礎で建立された。

4) 昭和31年(1956年)と昭和51年(1976年)には、霧島丸殉難者のご遺族、鹿児島商船学校同窓会、鹿児島大学水産学部、同水産学部の同窓会魚水会によって、遭難30周年記念行事や50回忌が行われ、前項による説明文碑構想で全船協との関係が確保され今でも一緒に活動できる切掛けとなった。

### III 今回初めて慰霊碑の美化清掃実施(海洋会・小松会・全船協)

1 慰霊碑の維持管理と海洋会鹿児島支部による美化清掃発案

1) 慰霊碑周りの草木も大きく成長し関係者が蘇鉄の葉伐採や雑草駆除等の維持管理をして見苦しくないように努力されているのは、現地を見れば納得できるだろう。

2) 全船協会と同様な会員で構成された海洋会の鹿児島支部(今村洋一支部長)、自ら社会貢献の一環として関係当局や団体の後援や協賛も頂きながら将来の海を担う子供達に海や船の魅力と夢を広める様々な活動をされマス

コミでも広く紹介されている。

3年前から始まったコロナ禍による影響は、鹿児島大学も例にもれず、以前伺った時の学内グラウンドも草が生え、霧島丸慰霊碑周りの整備も先送りとなっており、コロナ禍がおさまりに、練習船の訪問が復活する前に何とかしなければ・・・という話を海洋会支部長の今村氏が聞きつけて、今回の美化掃除も大学に協力しようと、最初に同支部が発案・企画されたと聞いている。



3)概して廃校となった学校に関する活動は、現存する関係先だけでも複雑に入り混じり、しかも関係者が高齢化している。特に船舶となると運航形態も加わり、我が経験からも云うのは簡単だが実際は複雑である。今回の企画も正にその通りで複数の関係団体とその関係者間の窓口や連絡体制、作業者の人員数の確保等があり、今回も海洋会支部長と小松会会長にとって骨の折れる対応だったのは明白である。

## 2 大島商船同窓会小松会を主体に

### 全船協も参加

1) 海洋会は、鹿児島支部があり同支部で今回の発案ができたが、全船協は、長い間霧島丸に関わっているが、鹿児島支部はない。海洋会今村支部長は、同窓先輩の神田氏に相談され、更に同氏から私に連絡があった次第だが、同氏とは東京で長年数多くの業務で席を一緒に活動し親交がある。余談だが過去に霧島丸に関しても一緒に取り組み、しかも故郷も鹿児島の隣町同士であり、これも御霊が仕組んだ何かの縁かもしれない。

2) 私は鹿児島支部がないので一緒に活動するのは、無理かと迷ったが全船協と関係があ

る大島商船小松会鹿児島支部の存在を思いついた。

3) 偶然にも同支部堀之内会長は、私と同じフェリー会社に勤務され親交があるばかりか、



支部会長職を私の叔父から引継いでおられ、出身校は大島／広島と違っていても親密に交際してきた仲である。それで相談したところ活動に参加する意志と人員確保に快諾され、小松会会員だけでなく想定される全船協他校出身者への参加対応にも協力してくださる事になり、私も遠路横浜から参加することにした。

## IV 当日の清掃・式典状況

### 1 清掃作業状況

1) 清掃活動は、海洋会、大島商船小松会及び全船協他校出身の各会員等と一部の家族



(奥様、子供達)が約 25 名程度参加した。  
2) 同窓会海洋会で発案され当初同大学部同窓会魚水会へ問い合わせられたと聞いている。しかし同会の辻口事務局長、岩元会長ともやむを得ない事情で当日不在と時々電話を頂く岩元会長から聞いていたが、事前に現場状況や事後にも今回活動へお礼の電話を頂いている。

3) 参加者にとって現地は初めての方々が殆どで 参加者数や作業手順も不確定な状況だったが、大学で清掃道具一式準備や事前に蘇鉄の葉を中心に草木の伐採・剪定もされていた。

4) 大学の窓口となった藤枝茂先生が作業参加 側全体の代表窓口今村海洋会支部長と連絡窓口 体制を確保され、しかも当日も作業しながら指 示を頂いた。特にトゲがある蘇鉄の葉を纏める固縛用に漁具の廃ロープを再利用して予め適当な長さに切揃えて準備頂いたので手際よく作業ができた。

5) 会員本人だけでなく同伴の奥様達・子供達全員も自ら慰霊碑周辺を箒等で掃いたり、周辺 の木の枝などを集めたり清掃をする光景は、将来に向け頼もしく映った。

## 2 献花・献杯等の式典や撮影・食事等

1) 鹿児島商船同窓会の最後の会長だった野元氏は 93 歳と高齢だが、私が再会



を楽しみにしている旨の電話を横浜からしていたのに応え、元気な姿で駆けつけられ華となった。野元氏の参加で参加者の年齢差が 80 歳以上と誇るべき活動となったが、私も横浜に帰宅後直ちに撮影した写真を郵送し大変喜んだ返事をもらい、4 年後にも参加する約束をして悔いの無い事をした次第である。

2) 取材陣も地元テレビ二社と新聞一社が訪れた。報道する側として疑問を持つような



①商船系学校出身者が水産系学部と同大同窓会魚水会が存在するこの地とどうして関係があるのか？

②霧島丸遭難が日本丸・海王丸建造の史実とどのような関係があるのか？等について取材陣各位が納得して頂ける機会となるだけでなく、今回の活動をスタートの一つとして広く周知していく為に報道機関の協力の必要性を感じる。

2) 単に清掃だけでなく合間を縫って海



洋会や小松会の厚意で準備された昼食弁当やお茶を頂く前に、御霊に安全を誓う慰霊式典を慰霊碑前で実施して、献花、献杯最後に全員で白菊の歌を声高々に唄い犠牲者を悼んだ。その後、綺麗になった芝生の上に陣取り親睦も兼ねながら食事を楽しんだが、日曜日だったので貴重な日本丸模型や壮絶の額は見学できず、期待して参加した方には残念だった。

4) 船乗りの世界は狭いという事を常日頃感じる私だが、商船三井フェリー勤務時に博多航路を日本海運と運航する為、東京港フェリー安全協議会等で一緒だった吉田明彦氏が日本通運から出向し定年退職で故郷へUターン海洋会として参加、また若い全船協城戸裕晶君も下船したばかりで参加され、初耳の部分があったりしながらも両人と久しぶりの再会で思い出話となり学校卒を超えた集まりの偉大さを改めて感じた。



## V 考察・まとめ

1 今回の活動が、海運界進出者も多い同学部在学生達が一例として海運界への関心を持つ場となる等、各同窓会会員が一同に集まって意思疎通や活動できる場となる事を願う次第です。

2 諸々の活動には金銭的費用が発生するが、今回は海洋会や小松会が多額の費用を提供された。今後霧島丸海難 100 年や各組織の創立記念の行事開催が予想される。横連携をとって企画しないと同種行事が短期間

に複数箇所で実施されたり組織によっては、他行事と競合する恐れが予想される。各組織が入り混じる現状で先輩達が行ってきた行事実績に負けないようにするには、早めの対応の必要性を痛感します。

3 最後に今回の清掃活動を無事終えた事への感謝、次の活動への夢に向けて御霊に誓いながら一本締めで 13 時頃今回の活動を終え解散した事を述べ終わりとしします。

(完) 七呂 記

# C号航海記（第1回）

内海水先区水先人会水先人 会 員 栗 阪 肇

## 5) はじめに

本編は、会報 139 号からの連載 A 号・B 号・E 号・F 号航海記の最終編となります。そのため、章立ては 1) ではなく 5) から開始（再開）となります。

商船学校時代からの永年の夢であった「船長」として、いよいよ初実職を執ることになったのです。

## 6-1)乗船地への陸行

20××年 9 月 25 日、朝 3 時頃目が覚めました。今日は、乗船のため朝一番の「みずほ 601 号」に乗車して熊本駅へ移動しなければならないからです。それとも、A 号乗船前から B 号下船直後まで住んでいた愛媛県四国中央市から岡山県倉敷市に転居してから日が浅いので、落ち着かなかったかでしょうか。

今回の乗船では、あらかじめ乗船荷物の一部を段ボール 2 箱に入れて代理店経由で本船に送りました。それでも昨夜荷造りをしていると、いつものスーツケース 1 個、ポストンバック 1 個、ナップサック 1 個、パソコン用かばん 1 個の合計 4 個となりました。段ボールを除けば、A 号・B 号乗船時と同じで、携行荷物の量はいつもとほぼ同じでした。

4 時頃、玄関から外へ出てみると 7 月 25 日から住んでいる木造平屋建ての屋根の上にオリオン座が大きく輝いていました。やはり、著者の人生の節目、節目には、このオリオン座が登場します。

現在の住まいは、JR 山陽新幹線の岡山駅と新倉敷駅間の沿線です。山陽新幹線や九州新幹線が家の南側 370m を通過すると、轟音が聞こえます。



桃太郎の銅像(JR 岡山駅前広場)

家から JR 最寄り駅までは車で、そこから在来線で 13 分、岡山駅に到着です。6 時前なので、新幹線の待合室には誰もいませんでした。待合室の窓にはブラインドが閉めたままであったので、外の様子を見ようとブラインドの角度を調節しました。

窓の外には、まだ夜が完全に明けきっていないうっすらとした夜空の下、駅前広場の交差点向こうにはビックカメラがあります。ビックカメラの前には、駅からまっすぐ東の岡山城へと続く桃太郎通り。目を下にすると、桃太郎広場「桃太郎の銅像」が立っていました。「桃太郎さん、喪中につき、ここ 1 年ほど神社に参拝できずにごめんなさい。今日から、また少しの間留守にします。お元気で！」桃太郎の神社とは、吉備津彦神社・吉備津神社（いずれも岡山市内）です。

JR 熊本駅で下車するのは、今回が初めてでした。前回、ここ熊本県を訪れたのは中学の

修学旅行の時でした。観光バスで、阿蘇山から雲仙に向かう途中で熊本城に立ち寄りしました。今回この熊本駅から目的地までが、実は距離があるのです。移動の前にインターネットで経路を調査しました。バスの運行会社のホームページにはたどり着いたのですが、複雑過ぎて路線経路を特定することができませんでした。特に、目的地のある下天草島内のバス路線が迷路のようでした。仕方がないので、宿泊するホテルも含めて、直接バス会社に問い合わせました。とても丁寧な図・地図・写真入りの資料がメールで送られてきました。産交バス(株)天草営業所 M さんに深謝です。すぐにお礼の電話をしました。すぐにお礼の電話をしました。と同時に、C号に乗船する自信ができました。

熊本駅前のバス停から途中の本渡バスセンターまで快速バスで2時間。途中、1か所のトイレ休憩がありました。バスセンターからホテル最寄りのバス停までが50分でした。バス停からホテルまでは、大荷物を抱えて100m歩いただけなので、大助かりでした。



四季咲館(遠くに苓北発電所が見える)

## 6-2) 鎮道寺

ホテル四季咲館には1430時頃到着しました。気温30度、風は強かったのですが、近所を散策するためホテルでお勧めの散歩コ

ースを訪ねました。まず足を運んだのが、ホテルのすぐ東にある鎮道寺。当日まで知らなかったのですが、江戸幕府の幕末幕臣 勝海舟。勝先生が、練習航海の途中に立ち寄ったのが、このお寺でした。勝先生は、本堂の柱に落書きをしたそうです。落書きは今でも残っていて、住職がいれば見せてもらえるとホテルで伺いましたが、著者が訪れた時には不在でした。(勝先生の落書きは、インターネット上で公開されております)

お寺のすぐ西(ホテル寄り)には、現代のお子さん向けの遊具があったのが印象的でした。しかし勝先生、大の大人が「落書き」をするとは、子供のような心を実は持っていたのですね。幕末にあの現代の遊具があったら、勝先生一向は落書きをする時間を惜しんで、遊具(すべり台、ジャングルジムなど)で遊んでいたのでしょうか。

## 6-3) 袋池

鎮道寺を後にして向かった先は、富岡城です。そのお城の南側に水面が黄緑色をした池がありました。「袋池」といいます。その池には伝説がありました。



袋池と富岡城

以下、現地の案内文ママ <この袋池は深い木々に囲まれています、不思議と木の葉が1枚も落ちていません。それには深いわけが

あるのです。昔、あるお米屋さんに美しい娘がいました。その父親が、お米を仕入れる時は大きな枡で買い、売る時には小さな枡で売っていました。娘はやめてくれるように何度も頼みましたがやめてくれません。悲しんだ娘はこの池に身を投じて龍となり、この池の主になりました。それからというもの、毎朝早く未だ暗い頃、娘の姿になり、水面を掃除しているということです。>

この昔話、著者は聞いたことがあります。まさか、ここがその場所だったとは。

#### 6-4) 富岡城

先ほどの袋池の前から富岡城を見上げると分かりますが、著者のような素人にも、このお城を落とすにはかなりの時間と労力が必要であることが分かります。その上、天草・島原の乱に参加した一揆軍は、3回も攻城を仕掛けています。よっぽど、城に立て籠る武士（お役人）が憎かったのでしょうか。それとも、生きる希望を失ったのか。

一つお話し忘れたことがあります。九州新幹線の車窓、そして、熊本駅からここ富岡まで来る道中のバスの中から、ずっと右手に、有明海の向こうに長崎県島原にある雲仙が見えていました。この富岡城からも小さくですが、見るができます。一揆軍のエネルギーは、もしかしたら噴煙の上がる雲仙から来ていたのではないのでしょうか。当時の天草の人々、島原の人々、毎日毎日雲仙を見ながら生活していたはずです。雲仙の噴火とともに、この辺りの人々の悪政（重税）への我慢に限界が来て、一揆という形となったと想像しました。後ほどお話しますが、鹿児島県にある桜島と、この雲仙とが著者には重なって見えたからです。

富岡城の二の丸には、銅像が立っていました。勝 海舟、頼 山陽（らい さんよう）、鈴木重成、鈴木正三の4氏でした。



富岡城からの眺め(遠くに長崎県雲仙が見える)

#### 6-5) 乗船

9月26日1530時、C号に乗船しました。ホテルから九州電力苓北発電所まではバスで、その入り口からは代理店の車で本船へ向かいました。発電所への到着時間が早かったので、代理店の事務所2階で1時間ほど待つことにしました。2階からは海側へ窓があり、遠くの東シナ海からこちらへ向かってくる本船がよく見えました。

商船学校を卒業後、本船を含めて17隻に乗船しましたが、これから乗船する船の入港姿を遠くから見たのは、2隻だけ記憶にあります。本船と、三等航海士時代に愛知県田原市で乗船した自動車船です。それ以外の船は着岸した直後を狙って乗船しました。代理店へ到着した直後、水平線に点でしかなかった本船は事務所の目の前まで近づくと、全長229m、幅36.5m。タグボート3隻にエスコートされて、さすがに大きく感じました。

本船が着岸すると、入港手続きを行う代理店に続いて著者も乗船しました。スーツケースなど大きな荷物は乗組員に運んでもらうことにしました。貴重品とパソコンとを抱えて、船長公室へ向かいました。前任の船長は72歳。新米船長の著者にとっては神様か仏様のような方でした。とりあえず、今日は乗船荷物の片づけだけをして、引継ぎは明朝か

ら行うことにしました。

## 6-6) 引継ぎ

船長の引継ぎは、技術的なことよりも事務的なことの割合が大きいので驚きました。事務的とは、①主に電子メールによる、寄港地である内地・外地の関係各所、船舶管理会社との連絡方法、連絡文章の作成方法。②重要な書類(証書)の保管方法。③乗組員の人事。④船用金の管理方法。などです。

船長の部屋には金庫があり、船用金が入れてあります。船用金とは、外国人乗組員の給料支払い、食糧やその他船内に必要な物を購入するための資金です。

本船の例では、米ドルと日本円とを入れています。引継ぎでは、その紙幣を数えるのです。日本円はまだよいのですが、米ドルはガラガラしていて数えるのが大変です。重なって1枚数え足らないことがよくあるのです。21,603米ドル、確かにありました。でも、初めてだったので疲れしました。

## 6-7) 交代

前任船長が下船されたのは、9月28日0800時でした。本来なら著者が宿泊していた富岡から高速艇で長崎へ渡る予定でしたが、税関に時間を指定されて出頭するように指示されたので、税関(熊本県三角)経由で帰宅されました。

さて、初めての船長なので右も左も分かりません。分からないことは用船社から船長1名(監督)が出帆まで本船にいらっしやっただので、監督に指導を頂きました。ロシアVaninoで積んだ石炭7万5000トン全て揚げ終わったのが9月29日1700時。監督は下船され、いよいよ出航です。

## 6-8) 出航

9月29日1730時、次港である豪州東岸

Dalrymple Bay へ向けて苓北発電所を後にしました。出帆時、水先人1名が乗船しました。水先人にお会いした瞬間、正直に伝えました。「実は、著者はこの港で乗船し、今回初めて船長として本船を指揮することになります。」すると、水先人は急に笑顔になり、「そうですか〜。じゃあ、急がず焦らずゆっくりと行きましょう！」水先人が下船したのが1800時。それからまっすぐと最短コースで豪州東岸へ向けて南下したいところですが、台風17号が本船の行く手を大きく阻んでいるのでした。

## 6-9) 台風17号

本船に乗船する直前、転居したばかりの自宅で残り少ない休暇を楽しんでいた時、台風17号がフィリピンの東方海上で発生したことを、テレビのニュースで知りました。それより数日前には、さらに東の海上に台風18号が発生。さらにもっと前、本船が今回、苓北発電所で揚げる石炭を積んだロシアVaninoへ停泊中(9月15日から21日)には、台風16号が日本海を南東から北東へと進んだのでした。

台風18号はそのまま北上して関東地方の南で東に進路を変え、問題ありませんでした。台風17号も、当初の予想では香港方面に西へ西へと移動するので問題ありませんでした。本船は、台風17号と18号の間を通過して真っ直ぐ南下する作戦を自宅ですべて立てていました。ところが、実家から苓北に移動する間に台風17号は予報に反して、沖縄から九州南岸、関東地方の南をかすめる(商船学校時代に習った秋特有のコース)に進路を変えてきました。

そこで、まっすぐ熊本沖の東シナ海から豪州へと南下する計画を変更し、沖縄北海域方面へと大回り(迂回)する進路を取りました。つまり、台風が通り過ぎるまで台風と並行で

逆方向へ向かったのです。それでも、大きく揺れました。もう一つ加えると、揺れが予想されたため、苓北に停泊中、普段は使わないカーゴホールドにバラストとして海水を 1 万 7000 トン入れました。本船の平均喫水を普段の 5.7m から 8.0m へ深くして、本船の安定性と船体強度を増やしたのです。

## 6-10) 124 次航海

苓北にて乗船して、C 号にとって 124 回目の航海が開始しました。「124 次航海」といいます。初めての船長であったので、苓北、豪州 Dalrymple Bay、広島県竹原、横浜と寄港、無我夢中でした。航海を通じて断片的にしか記憶がありません。

まず、苓北出帆直後の台風 17 号、18 号による大時化。Dalrymple Bay に提出する入港書類の作成と、積荷プランの作製。積荷プランは、本来一等航海士の仕事ですが、本船の一等航海士のプランは手直しが必要でした。Dalrymple Bay に到着する直前、グレート・バリヤ・リーフを横切るのですが、Reef Pilot 乗船予約について代理店経由の連絡が上手く進まず、ひやひや。ある資料によると、強制水先区域であり、水先人が乗船しないと本船は通航できません。また、別の資料によると水先人の手配は自由とありました。その確認作業が代理店との間でスムーズに運ばなかったのです。明日はパイロットステーションというところで、確認が取れました。

Dalrymple Bay に到着すると、積荷が問題なく完了できるかどうかで、またひやひや。出帆後、広島県竹原へ向かいました。大分県と愛媛県との間にある豊後水道から瀬戸内海へ入るのですが、瀬戸内海の水先人が乗船しれくれるかどうか情報がなかったので、またまた ひやひや。結局、火力発電所の規則により乗船してくれたのでセーフ。(初めての船長、著者の操船で瀬戸内海を竹原まで往

復となると、正直プレッシャーです)

竹原から横浜までは、東京湾湾口にある浦賀パイロットステーションで水先人を乗せるのですが、その時間に間に合うかどうかで、これまた ひやひや。エンジンを最高出力まで一杯回して何とか間に合いました。初めてなので仕方がないのですが、ひやひや連続の航海でした。



石炭の荷役(横浜国際埠頭)



停泊中の本船より発電所と富士山を望む

横浜国際埠頭に何とか到着すると、JR 根岸線磯子駅と根岸駅の間にある東京電力火力発電所(現在の JERA 南横浜火力発電所)の煙突と富士山とが一直線上に本船から見えました。煙突は海図で確認すると 203m。東日本大震災で一躍有名となった東京電力と、富士山と、本船とが停泊中に一直線となった偶然が、不思議でした。(次号へつづく)

## 南寮・北寮(白菊寮)時代の思い出

鳥羽商船 昭和44年機関科卒 竹内大助

鳥羽商船同窓会では、ホームページ内で【会員の投稿】を掲載しております。今回は、懐かしい母校寮での竹内大助さんの記憶を紹介させていただきます。

同窓会の懇親会で寮の入浴に関する思い出話をされた人が居て私も思い出しました。私の場合、1年生の時の入浴時間は意外とほっこりした思い出であり個人や年度によって相当違いがあるなと思いました。

以前の寮生活には今の時代なら想像できないようなこともありネガティブな記憶があっても当然です。しかし、後で考えれば良い経験になったという人が結構多いので救われているのです。だが、終わり良ければ全てよし、でいいのか、とも思います。

でも、まあ、この機会にどうして入浴は「ほっこり」の学年もあるのか、半世紀前を振り返ってみます。これを見て各年代の回想記が次々と出てくれば面白いかも知れません。

我々の学年は商船高等学校の最後で昭和41年入学。勿論全寮制で、今は何もない海のそばに南寮、北寮がありました。

それらは今の本校舎と同じ向きに2棟立っていて、写真の左側（通称焼き飯坂）方向に食堂や相撲の土俵がありました。

（写真A、Bご参照）

『故郷の海を愛する会』の12月イベントでロボットの実演を見せてもらう建屋、あの辺が食堂だったかな。それより入り江側に4人部屋が60以上、4階建てだが居室は2階以上なので各階に10以上の部屋数があって全寮制が成り立っていました。

寮はここだけなので白菊寮とは呼んでいませんでした。



写真:A 昭和44年頃  
本館と南北寮の間に武道館が見える



写真B 国道がS字カーブで事故が多く直線化し  
信号機が付いた

### ○ 入浴のルール

18時の点検を入口広場で受けたら1年生は一目散に部屋に戻り入浴道具を持って北寮の1階にある浴場に直行でした。

というのは、30分で全員が終わらないといけなかったからです。その後の風呂はガラガラで2、3年生はぶらりと来てゆっくり入

る、21時から1年生5人と掃除委員(2年生)が風呂掃除でした。

今なら人権問題かもしれませんが、我々は30分ルールに素直に従い交代に素早く洗うことを覚えました。1学期などは緊張が続く朝夕で、上級生とすれ違おうと大声で挨拶して、顔を見てはその人の名前を覚えているか、あれはXXさんか?いやYYさんだと1年生同士で確認していました。(話す時に、あんたという訳にも行かないので名前を早く覚えるしかないと指導された)

そんな日常のなかで1年生しかいない浴場は、伸び伸びと裸の付き合いができる場所でした。

色々な思い出があります。

例えば隣のカランで洗っているY君が、「最近この辺が痒いんさ」と股間を指している。どうやら彼は陰部を積極的には洗わずに今まで来ているが、部活で汗だくの毎日で痒くなってきているのだ。それで私は大袈裟に「ごしごし洗うさ。シャンプーも使うぜ」すると彼は「あーらおっ。」人生初の陰部石鹸洗いを挙行了したのでした。

他にも、H君が背中をタオルで洗っているのを見ると短距離走者のように下げた左右の腕の前後運動で擦るだけ、上の方は洗えていない。それを見た両隣の2人で片手は肩の上に持ち上げて斜めに擦るのさ、と教えました。紅顔の17才達はそれまでの偶然やそれぞれの成り立ちで洗い方も様々だったので、芋を洗うような80人浴場で洗練されたのです。忙しいけど同級生交歓の一時でした。

## ○ 学友さんの存在と優しさ

上記のような入浴の仕方、敬語の使い方、上級生に対する挨拶、敬礼の仕方、そして不思議な四文字熟語などは、入寮の瞬間から1

年生の部屋に来てくれる学友さん達に指導されていました。社会に出たときには役立つ習慣ですが、相当急速に教わりました。「学友」というのは、2年生の一名が新入生各人に対して必ず一名決定されている世話役のことです。(互選で決める、同一出身地が多かった)

まだ親と一緒に、寮に荷物を持ち込んだりしているときから来てくれて、私が面倒をみます、と挨拶してくれていました。

私は隣街の伊勢市出身で親も含めて本校の予備知識(怖い所らしい)もあり、同じ中学の先輩の学友さんの初日アドバイスを素直に聞き懸命に覚えました。

「至誠一貫」

「率先敢闘」

「和親一致」

「責任完遂」

の生徒規箴(諫める言葉)とか他にもメモしてあった口上文(船乗りのモットーなど)などです。

しかしこの初めての経験に違和感を持つ少年もいて、何故、2年生がここまで詳しい指導をするの?と不思議がる。

(今に分かる、度胸養成の大声朗読訓練が今日の消灯後からあるのだ)

「お前が覚えんと俺が怒られるから言うことを聞け」と言う人もいました。

いずれにしても最初の3日程は一部屋4人の1年生に対して殆ど2人以上の学友さんが来ていて教えてくれ、怖い3年生が訪れる時も付き添って来ていました。

中の一人に余り口数は多くないが、優しい目をして良く来てくれる人も居ました。

やや北国っぽい抑揚で何時も「頑張れよなあー。」と言って部屋を出る人でした。

あれを聞くと堪えるしかないな。と4人で頷いていました。

こういう雰囲気と教え方はそれまで続い

ていた横割り体制の積み重ねの結果であり、入浴もそれでスムーズに行ったのだと思われます。

## ○ 横割りと縦割り、この大きな違い

横割りの場合は親切な指導も、怒鳴り声で脅かしながらの大声朗読訓練も全て横並びです。（入口側に立って並ぶと最初で緊張して損です。）自分の学友さんが余り親切でなくても4人の内二人位は丁寧な人も居て4人共にその恩恵を受けられます。

その代わりに、あの階に行けば1年生ばかりだということで、やんちゃな3年生が大威張りで各部屋を回るのもやり易いのです。

さて1年生の下半期の部屋替えでは寮室の組み合わせが何故か縦割りに変更されました。（理由は不明）4人の部屋に1～3年が混じって入り、部屋によってどれかの学年が2人に成ります。私の部屋はE-3,N-2,E-2,E-1の組み合わせに成りましたが、E-3とN-2の方のウマが合って勉強しながらよく様々な会話をしている私は面白く聞きその話に入ることも偶にはありました。

部屋に出入りする2、3年生が同級生同士でどんな話をしているのかも予習勉強でした。縦割りの場合、上級生と下級生であっても生活の中での個人同士の関係も深まり上下関係の色は薄らぎます。そして3年生の性格によって部屋の気風は支配されます。

新入生への脅かしっぽい教育は縦割りでは起きにくく長所です。

だが逆に何らかの初期教育は必要になり、指導係、指導要綱を決めて日本間に集めて集中的にやる。（歌の会のように）とかの方法を取る必要があると思っていました。

ところが、なんと次の新学期から又、横割りに変わりました。何故かと言うと4月に来る新入生は高専生だからだと聞こえてきま

した。学制が異なり授業内容も就学期間も異なり、学校は立派になるらしい。だが寄宿舎の住み分けまで何故変えるのか？我々高校生達は少々慥然となりました。高専生と我々を隔離すると感じたからです。

学校側はそんなメンタルは気にしておらず制度変更時期の運営困難を避けるためには当然だったのでしょーがー。

縦割りは良い所も多く高校でも高専でも縦割りのままで寮内自治の規律、良識、今でいうコンプライアンス等の意識を高めるべきだったでしょう。だが、高3までの少年には少し難しいテーマと思います。



写真 C 南寮

404号室の机の前のS君とN君



写真 D 南寮

403号室ボunksの竹内

こうして振り返ると入学した若者が感じる学校の印象とは、横割りが縦割りか、直前の制度変化などの影響を大きく受けます。在

校生も初めてのことなら慣れがなく配慮できない（最初の教育のシステムが未熟）こともあるでしょう。舎監とかいう立場の人も居ないのですからー。私は怖い横割りと優しい縦割りを経験できた幸運者でした。

## ○ 記憶に残るささやかな改善

こうして横割りのまま 3 年生になった我々は、次のストームはどうするか、というテーマで日本間で話し合った記憶はありますが 1 年生の初期教育はどうするべきか、というようなテーマは流石に荷が重くて記憶にないです。緩くすると反動で却って危険になるという意見もありました。だが新入生が直ぐ辞めてしまうのはいかんぞ、明るくしよう「民主化」だ。言葉は変ですが、そういう意識はありました。

3 年の春に改善になったな、と覚えている一つは「自己紹介」です。

入学の二日目の放課後、寮内放送して当直教官も呼んで広い食堂に 2 年生、3 年生が座り、学友の指導のもと中央の台に登壇した 1 年生は、順に「私は××県××市××中学校出身の××××です。よろしくお願ひします。」と挨拶しました。

緊張して詰まったり「声が小さい！」と言われる子もいましたが、アドリブを加えて沸かせる子もいました。楽しく Open な雰囲気で行いました。

演出が誰だったか、よく覚えて居ませんが生徒会長の A 君達と教官が前列で拍手していたのは覚えています。

もう一つは、高専になると新たな規約で執り行われるだろう学生会の新規約について、学生側から希望を出していけよ、という趣旨で意識の有りそうな 2 年生を集めて話し合いを何回か行い彼らが提案を纏めました。

（こういうことは寮では直ぐできる）高専生

の 2 年生が学校に申し入れをし、その後の生徒会役員選挙はその希望が盛り込まれた方式で行われていました。

普通の高校ではあり得ないような勉強以外の様々なことを多く体験させられ考えた商船高校時代でした。

我々の在学中の思い出は既に「考古学」などで却って話し易く、反芻するなど長い時間軸の各部分が触れ合う事も無意味ではないと思います。

鳥羽商船同窓会ホームページはこちらです  
<http://tobacmtdousoukai.sakura.ne>.



同窓会 HP QR コード



## 富山高等専門学校

### ○ 秋季オープンキャンパス、オンライン・電話相談会、進学個別相談会を開催

令和4年10月29日(土)と30日(日)の両日、秋季オープンキャンパスが開催されました。1日目(29日)では「船の仕事を見てみよう 海と船と港を学ぶ」と題して練習船『若潮丸』に乗船し、参加者は船から港や海を眺め、富山の物流や船の動く仕組みを学びました。



講座の説明の様子

また2日目(30日)「シミュレータで巨大船を動かそう 船の動きを学ぶ」「What's a marine engineer!? ～船の運航を支える「機関士」ってどんな仕事?～」と題して、学生が実習で使用する本校設備の航海シミュレータや小型エンジンに触れながら、操船技術やエンジンの基礎を学ぶ体験型授業が提供されました。

本校の学生たちが学科紹介や案内役・説明役を担い、高専での学びや魅力、実習での経験について、中学生やその保護者たちに語ってもらい

ました。

つづき、11月26日(土)にはオンライン・電話相談会、11月27日(日)と12月3日(土)には進学個別相談会を開催し、本校入学後の学生生活に関する疑問に回答する機会となっております。これら取り組みによって参加者らが将来を考えるきっかけになることを願っております。



「若潮丸」乗船



「若潮丸」機関室見学



学科紹介

### ○ Ti-TEAM を実施

富山高等専門学校 1 年生 6 学科の学生らが異なる学科学生でチーム (班) を構成し、企業のデータ利活用事例や特徴を取材し、最終レポートを班毎にまとめる取り組みである “Ti-TEAM” を行いました。

第一回：令和 4 年 9 月 28 日 (水)、第二回：10 月 20 日 (木)、第三回：11 月 9 日 (10 日) にて実施されました。富山高専は工学系である機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質科学工学科、電子情報工学科と、国際ビジネス学科、商船学科で構成されております。多岐にわたる学科で構成されていることが特色の一つであり、それら学科の 1 年生が学科・キャンパスを跨いで班を構成し、課題に取り組みます。

第一回・第二回では取材に向けた打ち合わせや取材シートの作成を行いました。遠隔テレビ会議システムを使って議論を進め、第三回に企業担当者への取材を行い、最終レポートをまとめました。交流という側面からも意義のある取り組みとなっております。

### ○ 令和 4 年度 商船学科席上課程修了式を挙

令和 5 年 2 月 28 日 (火) 商船学科 5 年生の席上課程修了式を挙りました。前日の 27 日には卒業研究発表会でこれまでの学修成果に基づく研究成果を発表しました。本年度は 38 名 (航海コース 18 名、機関コース

20 名) の学生が席上課程を修了しました。修了式では担任から修了生一人一人の名前を呼ばれた後、國枝校長より、「多くの人と出会い、多くのことを吸収し、成長してほしい。残りの一ヶ月を無駄にすることなくこれまでを振り返って書き留めてほしい」と訓辞を述べられました。修了生代表として新沼剛学生から、半年の実習を完遂することを誓いの言葉として述べられました。席上課程を修了した 38 名の学生は、4 月から約半年の海技教育機構の練習船実習に臨みます。約半年間の実習の修了が認められることで、入学から 4 年半の席上課程と一年間の乗船実習を修了し、卒業となります。



担任からの氏名読み上げ



訓辞に耳を傾ける学生たち

(教務主事補 商船学科 経田僚昭)

## ○ 学生会長選挙

12月14日(水) 射水キャンパスで令和5年度学生会長選挙が行われました。今回は2名が立候補し、選挙戦となりました。

選挙に先立ち、コロナ禍に入ってから初めての立会演説会が行われました。推薦人と候補者がそれぞれ順番に演説した後、会場からの質疑応答が行われました。

投票の結果、イベントの活性化等を公約に掲げた商船学科3年の坂井雅空学生が選挙戦を制し、令和5年度の学生会長に決定しました。

## ○ 高専フェス

12月14日(水) 射水キャンパスで高専フェスを行いました。イベントでは、フリースタイルダンス部と軽音楽同好会が日頃の練習の成果を披露しました。また、ステージの合間には抽選会も実施し、イベントを盛り上げました。

学生会長選挙の直後だったこともあり混乱が心配されましたが、学生会の役員が中心となって運営を取り仕切り、スムーズにイベントを進行させていました。



フリースタイルダンス部



軽音楽同好会

## ○ 卒業生を送る会

2月16日(木) 射水キャンパスで卒業生を送る会が行われました。

卒業生を送る会は、学生会が企画する会で、今年で9回目になります。

今回は総合メディア教室のスクリーンに、在校生や教職員からのビデオメッセージ等が上映されました。

会場に来た学生はビデオメッセージを観て、友人らとの5年間の思い出に浸っている様子でした。

## ○ 合同リーダー研修会

2月10日(金) 大学コンソーシアム富山において、射水キャンパスと本郷キャンパスの新年度(令和5年度)学生会の役員学生が一同に会し、合同リーダー研修会を実施しました。

この会では、出席者の自己紹介に始まり、今年度の活動報告、令和5年度高専祭(志峰祭)の進捗状況報告や次年度の合同行事に関する打合せなどが行われました。

また、担当委員ごとに分かれてのミーティングも行い、キャンパスを超えて学生間の意見交換や交流を図りました。

## ○ 全国高等専門学校ロボットコンテスト2022

11月27日(日) 両国国技館において全国高専ロボコンが開催されました。

本校からは本郷キャンパスのチーム、プロジェクト名「SKY×FAMILY」が出場しました。

1回戦に1-3で惜しくも破れたものの、人とロボットのコラボレーションにチャレンジし、最後の最後まで諦めずにやり遂げた点が高く評価され、特別賞(本田技研工業)および高専制度創設60周年記念特別賞(チャレンジ賞)を受賞しました。

腕を模した射出機構で「1つ1つ正確に」的を狙い撃ちするという、画像認識を使ったユニー

クな技術について、スペシャルナビゲーターを務めるタレントの小島瑠璃子さんとカズレーザーさんは、「楽しい」「(難題を) 課している、自分に課している！」などとコメントしていました。試合の最後にポイントが決まり、ハイタッチをして喜ぶ選手たちの様子がスクリーンに大きく映し出され、その姿に会場も大いに盛り上がりました。



チーム部門プレゼン

## ○ 高等専門学校 DCON2023<後期>企業課題アイデアソン

1月6日(金)、(一社)日本ディープリンング協会主催の高専 DCON2023<後期>企業課題アイデアソンにて、本校の学生のグループがグッドアイデア賞およびグッドプラン賞を受賞しました。

(学生主事補 商船学科 布目明弘)

## ○第 16 回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト

1月28日(土)・29日(日)、一橋大学一橋講堂において第16回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストが行われました。

本校からは、シングル部門に1名、チーム部門に3名が出場しました。

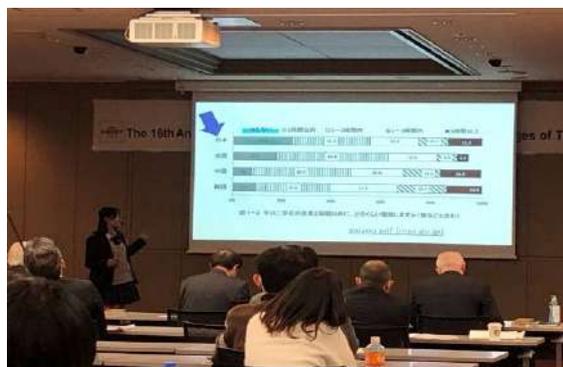
審査の結果、チーム部門が女性の生理にまつわる現状についてこれまでにない啓蒙的なプレゼンをしたことが評価され、全国高等専門学校英語教育学会(COCET)賞を受賞しました。

## 「北斗会 便り」

大雪予想を裏切った暖冬の富山にあっては、早々に春の景色が広がっています。

コロナ感染症が猛威をふるった3年間に身についたマスク着用も、3月中旬から個人判断での着用になることに多少の戸惑いさえ感じられるくらい習慣づいた感があります。

北斗会では昨年6月の総会より対面会議を実施していますが、支部長会議にあってはコロナ感染症対策だけでなく、本会の特徴でもある各支部所在地が北海道から富山までの広範囲にわたるため対面会議には無理があるため、リモート会議の場で現況報告や要望事項及び課題提議について討議しています。



シングル部門プレゼン



前回の便りでお知らせした同窓生の親族から送られてきた学生服と実習服ですが、この度本校資料室に展示させて頂きました。

42年前に卒業した同窓生の遺品ということですが、丁寧に保管されていたものなので、きっと資料室の見学者には学生時代を思いださせる展示品となるでしょう。親族の方には改めて感謝申し上げます。

現在、母校「あいの風会館」展示室の全展示品は整理途中の状態ですが、見学を希望者される方は事前に母校勤務の同窓生に連絡いただければ可能な限り対応させていただきます。

令和5年度の「北斗会 総会」を下記の通り行いますので、ご出席をお待ちしています。

日 時 : 令和5年6月3日(土)

14:00 ~ 理事会

17:00~ 総会

18:00~ 懇親会

「総会・懇親会」出欠に関しては、3月発送の「北斗会会報」に同封してあるハガキにて連絡ください。

「北斗会」事務局 佐々木 正

# 鳥羽商船高等専門学校

## ○ オープンキャンパスを実施しました

令和4年10月1日（土）に本校にてオープンキャンパスを実施しました。当日は、台風も心配されましたが、すっきりと晴れたお天気となり、延べ139名にご参加いただき、8月開催の参加者と合わせると過去最大の550名を超える参加者数となりました。

8月と同様に、全体説明・学校紹介の後、商船学科希望者と情報機械システム工学科希望者に分かれて、校内施設見学を行いました。

商船学科では、練習船「鳥羽丸」見学や、実習工場など施設見学、保護者の皆様は学科長による学科説明をお聞きいただきました。

一方、情報機械システム工学科では、学科長から学科紹介の後、少人数のグループに分かれて中学生と保護者の皆様に実験室やものづくり工房などを、教員や学生の説明を交えながら、施設見学いただきました。



## ○ 寄附金贈呈式を開催しました

協同海運株式会社（代表取締役社長 西村譲治）様から本校学生の活動支援に役立ててほしいとの寄附の申し出があり、令和4年10月19日（水）本校において寄附金贈呈式が行われました。

今回の寄附は、株式会社三十三銀行SDGs私募債を協同海運株式会社様が購入し、発行に係る手数料の一部を利用して、本校に対し寄附いただきました。



## ○ 第33回高専プロコンにて特別賞を受賞！

令和4年10月15日（土）から10月16日（日）に開催された第33回全国高等専門学校プログラミングコンテスト（群馬大会）にて、本校の出場チームが課題部門にて特別賞を受賞しました。

(課題部門)

「オンラインで生み出す新しい楽しみ」をテーマにした作品

(作品名)

「OMIAI」

## ○ 高専ロボコン 2022 東海北陸地区大会デザイン賞&特別賞受賞!

令和4年10月3日(日)、第35回アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2022 東海北陸地区大会が3年ぶりに対面で、三重県鈴鹿市で開催されました。

今年度の競技課題は「ミラクル★フライ～空へ舞い上がれ!～」。

2分30秒の試合の競技時間中に、ロボットが「紙飛行機」を飛ばし、高さや面積の異なる、テーブルや滑走路(長机)などにランディングさせ、得点を競う競技です。

本校からは、2チームが参加しました。

### 【Aチーム「挑戦の弾道」(指導教員:情報機械システム工学科 脇坂准教授)】

台形ねじをもちいた装填機構と可変速のローラーで勢いよく紙飛行機を飛ばす射出機構、独自開発の装填機構とチェビシェフリンク機構でふんわりと紙飛行機を飛ばす機構を組み合わせたロボットを作成しました。

初戦富山高専射水キャンパスに判定勝ちも、2戦目で、今大会優勝の鈴鹿高専に敗れました。

### 【Bチーム「入れ込み ぶっぱまんV」(指導教員:情報機械システム工学科 宮崎教授)】

エアシリンダを用いたパンタグラフのリフトアップ機構と投石機構を組み合わせ、人が腕を振って投げるかのように紙飛行機を飛ばす機構、ベルトコンベアを用いた機構、ゴム動力により紙飛行機を飛ばす機構、を組み合わせたロボットを作成しました。

デザイン賞と特別賞(セメダイン株式会社)を受賞しました。惜しくも全国大会出場は逃しました。

### 【授賞理由:デザイン賞】

「投石、ベルトコンベア、ゴムと多様な射出機構を詰め込み、次は何を繰り出してくれるのかと会場を沸かせただけでなく、木材を多用した環境にやさしい機体を作り上げた。」

### 【授賞理由:特別賞(セメダイン株式会社)】

「人が投げているような美しいフォーム、まさに伝統のちからを活かしたロボットに仕上げてくれた。」

## ○ GNSS・QZSS ロボットカーコンテスト2022 のオンライン部門で審査員特別賞を受賞!

令和4年10月22日(土)に開催されたGNSS・QZSS ロボットカーコンテスト2022において、本校学生が制作したロボットカーがオンライン部門にて審査員特別賞を受賞しました。

衛星測位機能を搭載したロボットカーによる自律走行を競い合う「GNSS・QZSS ロボットカーコンテスト2022」(主催:一般社団法人測位航法学会、共催:一般財団法人宇宙システム開発利用推進機構、公益社団法人日本航海学会 GPS/GNSS 研究会、準天頂衛星システムサービス株式会社)は今年で16回目となり、3年ぶりとなる東京海洋大学グラウンドでの実走(会場参加)と、2020年から続くリモートでの参加(動画参加)のハイブリッドでの開催となりました。



## ○ パソコン甲子園 2022 のモバイル部門でベストアイデア賞を受賞!

令和4年11月5日(土)～6日(日)に開催されたパソコン甲子園2022において、本校学生が制作したアプリがモバイル部門にてベストアイデア賞を受賞しました。

コンピュータ理工学が専門の会津大学等によって主催・運営されるパソコン甲子園は、高校生と高等専門学校生(3年生まで)がプログ

ラミング能力をはじめ、情報処理技術におけるアイデアや表現力等を競い合い、その経験を通して知識と技術を高める ICT 分野の全国大会となります。

#### 【制作アプリ】

「りばるん ～流行予測による制服の着こなし提案アプリ～」

#### 【概要】

女子高生が誰でも簡単に取り入れることができるような、昔と現代の流行を組み合わせた新しい制服コーディネートを提案するアプリとなります。8月24日(水)に令和4年度学内研究発表会を開催しました。

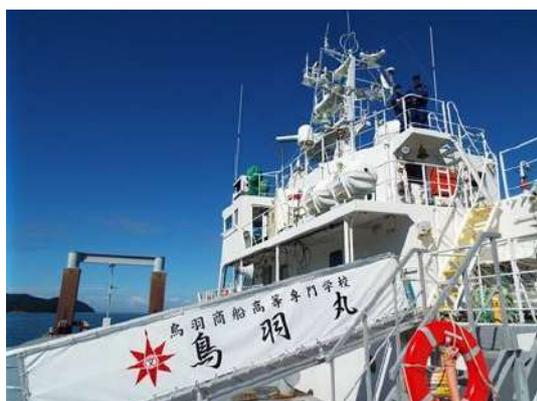


#### ○ 鳥羽丸体験航海を実施しました

令和4年10月15日(土)および11月19日(土)に、鳥羽丸体験航海を実施しました。

対象は、小学5年生以上としました。日本全国から10月は15組27名、11月は12組24名の小学生と中学生および保護者の方々にご参加いただきました。

両日とも、体験乗船会の実施に際し、本校学生が作業、当直、説明を行うなど大いに活躍してもらいました。



学生の生き生きした姿や情熱がご参加いただいた方々に伝わり、本校に興味を持っていただけのではないかと考えております。

#### ○ 株式会社商船三井の航海士と機関士が鳥羽丸実習に参加、学生と交流しました

令和4年11月15日(火)～11月16日(水)の商船学科航海コース3年生の鳥羽丸実習に、株式会社商船三井から2名の航海士の方々にご参加いただきました。また、11月21日(月)～11月22日(火)の商船学科機関コース3年生の鳥羽丸実習には機関士の方にご参加いただきました。学生の実習風景をご覧いただくとともに、夕別課ではそれぞれ、学生と懇談していただきました。現役の航海士、機関士の方々からのお話は非常に貴重で、学生にとって有意義な時間となりました。懇談中、学生から様々な質問があり、それに対して、丁寧にご回答いただきました。学生のモチベーションアップにつながりましたので、学生全員がレベルアップし、優秀な船員として育ていただければと考えております。





### ○ 第 11 回高校・高専気象観測機器コンテスト最優秀賞・代表理事特別賞を受賞！

令和 4 年 12 月 18 日に開催された一般財団法人 WNI 気象文化創造センター主催による第 11 回高校・高専気象観測機器コンテスト最終選考（開催場所：三代目の南極観測船 SHIRASE5002 船内）において、本校の白石研究室と北原研究室の学生がそれぞれ最優秀賞・代表理事特別賞を受賞しました。

### ○ 鳥羽商船高専公式 YouTube チャンネルを開設しました

この度、鳥羽商船高専公式 YouTube チャンネルを開設いたしました。公式チャンネルでは、鳥羽商船高専の魅力を発信していきますので、ぜひチャンネル登録をお願いいたします。

チャンネル URL  
【 <https://www.youtube.com/@tobashosenKOSEN>】

### ○ 教育 YouTuber の葉一さんが本校を取材しました

この度、YouTube チャンネル「とある男が授



業をしてみた」で授業動画配信を行い、小中高生に人気の高い教育イノベーターである葉一さんが本校の商船学科を取材されました。

取材動画の公開について、後日改めてご連絡いたします。

### ○ 360°校内パノラマツアー及び鳥羽丸船内ツアーを公開しました

Google ストリートビュー（インドアビュー）で、鳥羽商船高専内の教室や実験室、学生寮といった校内施設、そして練習船鳥羽丸の船内を 360° 見渡すことができます。

実際に鳥羽商船高専に入学した気分で校内を散策してみましょう！

学校ホームページ

【<https://www.toba-cmt.ac.jp/>】

360° 校内パノラマツアー

【<https://tourmkr.com/F1AU1XYP66/39255121p&42.89h&99.04t>】

360° 鳥羽丸船内ツアー 【<https://www.toba-cmt.ac.jp/about/shisetsu/tobamaru360/>】

### ○ 観光甲子園でグランプリ受賞！

令和 5 年 2 月 5 日（日）に開催された観光甲子園 2022 の空飛ぶクルマ部門で本校学生チームがグランプリを受賞いたしました。

観光甲子園（主催：NEXTTOURISM）は、全国の高校生が SDGs 思考で観光事業計画を競うコンテストで、SDGs 思考で修学旅行プランを計画する「SDGs 修学旅行部門」と、空飛ぶクルマの実用化に向けて観光分野における事業アイデアを計画する「空飛ぶクルマ部門」の 2 つの部門があります。

本校のチーム鳥羽は空飛ぶクルマ部門に出場し、予選にエントリーした 94 チームから、予選・準決勝を勝ち抜き、決勝の 5 チームに選出され、決勝大会でグランプリを受賞いたしました。

（商船学科航海コース 齊心 俊憲 記）

### ○ 令和 4 年度は、練習船「鳥羽丸」の代船建

造に向けて大きく一步を踏み出した年をなりました。代船建造にあわせた浮棧橋の架け替え整備の準備も進められる一方、今後のさらなるグローバル化や DX、防減備災等に対応したキャンパスの整備充実を目途とする「キャンパスマスタープラン 2022」を策定しています。

高専発！ Society 5.0 型未来技術人財育成事業に全国高専の中核拠点校として採択され、「とる」から「つくる」へ農林水産業の DX 推進プロジェクトを進めています。

学生参画による地域の農林水産分野の DX 推進を通じた社会実装型研究が進んでおり、地域に根付いた新産業の創出・雇用や起業家育成にも取り組みます。

参画校は、函館高専、一関高専、和歌山高専、阿南高専で、全国の他高専との協力連携も拡げていく計画です。令和 5 年 3 月 8 日には、国立大学法人東京海洋大学名誉教授の今津隼馬先生を委員長にお迎えして運営諮問会議を開催して委員の先生方からの御指導、意見交換をいただいたところです。

これから本格的に始動する高等専門学校スタートアップ教育環境整備事業の中においても、「スタートアップ教育モデルの確立と海事・水産・農業分野での実践」題して、本校学生が起業を含めた自由な発想で集中して活動にチャレンジできる起業家工房（試作スペース）を整備して活動を後押しするとともに、自らの技術を用いて地域の社会課題解決と産業の活性化に取り組む活動を支援していきます。学生の活躍をどうぞご期待ください。

(校長 和泉 充 記)



鳥羽商船高専同窓会だより

○ 3 月 18 日（土）母校電子機械工学科、制御情報工学科の最後の卒業式が挙行されました。両工学科としての卒業式は今年が最後で、来春からは学科再編された情報機械システム工学科としての卒業式となります。

今年は初めて、新築されたばかりの鳥羽市営サブアリーナのホールで開催されました。

当日はあいにくの小雨でしたが、和泉校長、同窓会菅沼会長、中村鳥羽市長の激励と熱いエール、温かい言葉に送られ、若鳥たちが巣立っていきました。

電子機械工学科 37 名の内、進学 5 名、就職 29 名の進路が決まっています。

情報システム工学科では 42 名の内、進学 13 名、就職 29 名。専攻科生産システム工学科 6 名の進路が決まりました。

今年も景気回復の期待で求人社数は 300 社を超え、企業からの人気も高い鳥羽商船です。



○ 令和 7 年には母校創基 150 周年、新鳥羽丸

就航、鳥羽商船同窓会設立 100 周年と慶事を控えています。卒業生の皆様にはぜひともご協力をお願いいたします。

○ 同窓会ホームページでは、【**会員の投稿**】を掲載しております。最近では、懐かしい母校寮での記憶や練習帆船模型「あまき」修復の様子、同窓会開催報告などを紹介しています。

○ 鳥羽商船同窓会ホームページはこちらです  
<http://tobacmtdousoukai.sakura.ne.jp/>

同窓会事務局長 江崎隆夫



同窓会 HP QR コード

# 広島商船高等専門学校

## ○ 海事システム工学専攻入学式を挙行

10月3日に、専攻科海事システム工学専攻へ新入生3名が入学しました。

河口校長より、「気力、体力、人間力」を磨き、目標に向かって進んでほしいとの式辞がありました。

## ○ 高専ロボコン 2022 中国地区大会、アイデア賞受賞

10月9日「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト 2022 中国地区大会」を東広島運動公園体育館で開催しました。

3年振りのリアル開催となり、各高専16チームが対戦形式で競い合いました。

今回の競技課題「ミラクル☆フライ～空へ舞いあがれ!～」は、自作した紙飛行機をロボットが飛ばして、5か所の円形スポット、2か所の縦長滑走路、2種類の筒型ベースの中にランディングさせていく対戦型競技です。



本校のSES同好会Bチーム「Precise Landing」(プリサイス ランディング)は決勝まで進みましたが、惜しくも敗れ準優勝となりました。

Aチーム「紙色参羽」(カミイロサンバ)は独特な装填機構や自動経路生成追従制御などが評価され、【アイデア賞】を受賞しました。

両チームとも全国大会の出場は叶いませんでしたが、久々のリアル開催でひたむきに戦いました。

## ○ 第33回高専プログラミングコンテスト 企業賞受賞

10月15、16日に第33回高専プログラミングコンテストが群馬県のGメッセ群馬で開催されました。

本校からは自由部門に5年生5名の1チームが参加し、制作した「ぐるぐるウェイ Way のぞむくん」が、リンクス企業賞、トヨタシステムズ企業賞の2つの企業賞を受賞しました。

制作した作品は、望遠鏡型のデバイスで地球上の好きな場所を自由に観察できるというもので、作品のアイデア等が評価され受賞に至りました。

## ○ プログラミング教室を実施

11月15日、大崎上島町内の小学5年生を対象に「大崎上島町プログラミング教育支援」を実施しました。



本事業は、大崎上島町教育委員会からの依頼により、行われているものです。

教員の指導のもと、流通情報工学科及び専攻科の学生も参加し、学生も小学生に講義を行いました。

参加した小学生からは、プログラムが完成しパソコンに絵が描かれた時には歓喜の声も聞かれ、本校の学生と楽しそうに取り組む姿も随所に見られました。

### ○ベトナム短期留学受け入れ事業を実施

10月9日～10月15日にJSTプログラム『さくらサイエンス事業』として、本校の協定校であるベトナム第一短期大学から教員4名、学生5名が来校しました。

留学生には、広島県の歴史や文化を体験してもらうため、平和記念公園や宮島の見学、本校での授業や実習、クラブ活動等の体験をしてもらいました。本校の学生が積極的に英語を用いて、実習のサポートや様々な体験を共に行いました。



最終日には、ベトナム第一短期大学の教員より、学校の説明会が行われ今後の船員養成について本校教員と意見交換を行いました。また、ベトナム第一短期大学の学生より、この短期留

学についての報告会がありました。

プログラムの最後に、ベトナム第一短期大学からは伝統舞踊が披露され、返礼として本校の学生から日本の歌が送られて全プログラムが終了しました。

参加してくれた留学生は「楽しかった。また日本に来たい」「勉強になった、将来日本で働きたい」などの感想を述べていました。

本校では、今後も協定校を中心に国際交流事業を推進したいと思います。

### ○ 商船祭、秋季オープンスクールを開催

10月29、30日に第45回商船祭が開催されました。30日はオープンスクールも同時に開催され、参加した中学生は視聴覚教室で全体説明を終えた後に、学校施設や練習船、寮等の見学の他、各学科展示、本校学生が出店した模擬店での食事やステージ発表等を楽しみました。

参加した中学生からは「広島商船の雰囲気伝わってきた。とても楽しかった」、「学科展示で質問をしたらとても丁寧に教えてくれた。こんな先輩になりたいです。」といった感想がありました。

本校学生も、コロナ対策を十分に行いながら、様々なイベントを工夫して行い商船祭を楽しみました。



### ○ キャリア教育セミナー開催

11月29日に「次世代の海洋人材育成事業」のサブプロジェクトとして商船学科3年生を対象にキャリア教育セミナーを開催しました。

日本船主協会の講演者より、「外航船員の魅力」というテーマで、日本の海運についての説明や、外航船員（海技者）の魅力、商船学科学生の今やるべきこと等について、講演者の経験

に基づき図や写真を用いて、分かりやすく講演していただきました。

聴講した学生は、海技者としての将来について具体的に考える機会を得られたことにより、学校生活を充実させる必要性を再認識でき、本講演は非常に有意義な機会となりました。



し、「オリンピックと世界陸上から学んだこと」と題した講演と、「走る」、「跳ぶ」、「投げる」全てを網羅した実技教室を実施していただき、島内の子どもから大人まで幅広い世代の方が参加して中田さんとの貴重な時間を過ごすことができました。



### ○ 産業振興交流会事業「地域企業による講義」を開催

12月1日～12日の間、広島商船高等専門学校産業振興交流会主催で「地域企業による講義」を地元の6社にさせていただきました。

学生が地域を知る良い機会となり、講義後のアンケートでは「役に立った」という意見が多く聞かれました。講義に協力していただいた企業様には大変感謝いたしております。



### ○ 山陰基礎論と数学およびその周辺の研究集会(2023)で学生が発表

1月8日～9日の2日間、米子コンベンションセンターで「第8回山陰基礎論と数学およびその周辺の研究集会(2023)」が行われました。

この研究集会は数学分野における基礎論および解析学を中心とした研究交流の場です。

その研究集会の場で本校の橋本学生(電子4年)と岡田学生(電子4年)が以下のタイトルで発表しました。

橋本学生: Khalil 型適合性微分をもつ線形微分方程式の解の非振動性

岡田学生: Khalil 型適合性差分をもつ線形差分方程式の解の非振動性



### ○ オリンピアン陸上教室を開催

12月3日に広島商船高専オリンピック陸上教室を開催しました。

アテネオリンピックの陸上競技、女子7種競技に出場した中田有紀さんが講師として来島

## ○ 高校生ビジネス・プラングランプリで表彰

日本政策金融公庫主催の高校生ビジネス・プラングランプリにおいて、本校の桜河内学生（商船学科2年）、宮崎学生（流通情報工学科2年）、新田学生（電子制御工学科2年）、栗原学生（商船学科2年）の4名で作ったチームがベスト100（4996チームのエントリーのうち）に選定され、1月8日にその表彰式がありました。

4人のビジネス・プランは、自分たちのアイデアと技術で大崎上島の地域課題を解決し、経済を更に活性化させることを目的としており、今後は具体的な起業化に向けての準備を進めています。



## ○ 海上保安部より感謝状贈呈

令和4年4月に知床半島沖で発生した観光船の沈没事故を契機に、船舶運航管理者、乗組員らに安全確保への意識をより一層高めてもらおうと、商船学科の5年生3名が、海難発生の際の避難手順をまとめたポスターを作成しました。



このポスターは卒業研究のテーマとして迅速な避難に繋がる視覚効果を調査することを目

的に2種類が作成され、「海の上の避難訓練」と題し、ペンギンとスナメリの愛らしいキャラクターがそれぞれに避難手順を紹介しているものです。このポスターが海難防止に寄与したことを讃えられ、2月に呉海上保安部より感謝状を頂きました。

## ○ 後期クラスマッチ開催

2月14日に令和4年度後期クラスマッチを開催いたしました。当日は天候に恵まれ、体育局の学生主導のもと、学生たちは各種目において白熱した試合を繰り広げました。

感染対策を講じながらの開催になりましたが、学年の枠を超えての行事ということもあり、リフレッシュ出来る良い機会になりました。

（競技種目） リレー、ソフトボール、ドッジボール、バスケットボール、モルック、カードゲーム、借り物競争、綱引き



（商船学科 小林豪 記）

## 校 友 会

### 1. 2023年総会

5月27日（第4土曜日）

ホテルグランヴィア広島 14:30~

今回は懇親会も開催します。

多数の参加をお願いします。

### 2. 合祀式

日程は未定ですが、開催予定です。

広島商船高等専門学校 校友会

月水金 9:00~15:00

TEL 0846-65-3899

E-mail: koyukai@hiroshima-cmt.ac.jp

# 大島商船高等専門学校

令和4年11月から令和5年3月にかけて行われた主な式典、教育活動、地域連携活動などを中心に紹介します。

## 1. 式典・行事

### ○ 練習船「大島丸」竣工

令和5年3月13日建造中であった練習船「大島丸」が完成し、入魂式と引渡式が三菱造船株式会社下関工場で行われました。

本船の航海船橋甲板において、航海の安全を祈願する入魂式が執り行われ、その後、三菱造船株式会社と本校との間で引渡書並びに受領書の授受が行われました。

完成した「大島丸」は同日9時45分に多くの関係者に見送られながら造船所の岸壁を離れました。本船の建造に携わった造船所のスタッフの方々、本校教職員及び本船乗組員にとって最も感慨深い日となりました。



入魂式の様子



引渡式の様子

### ○ 練習船「大島丸」竣工記念式典・内覧会

令和5年3月19日、本校は練習船「大島丸」の竣工記念式典を挙行了しました。式典には、永岡桂子文部科学大臣、赤池誠章参議院議員、谷口功国立高等専門学校機構理事長ほか、多くの関係者にご列席いただきました。

古荘雅生校長は式典挨拶で、本船の建造にご尽力いただいた各位への感謝とともに、今後は、「大島丸」の優れた機能と諸設備を余すところなく発揮し、皆様からの御支援・御期待に応えるとともに、今まで以上に優れた海事人材の育成や災害対応、地域貢献など幅広い分野で重要かつ細やかな役割を果たしていきたいと述べました。

また、ご列席いただいた永岡大臣、赤池議員、村岡山口県知事、柳居山口県議会議長に



お祝いの言葉をいただきました。

大島丸船上での記念撮影（左から村岡知事、永岡大臣、古荘校長、柳居議長、藤本周防大島町長）

式典挨拶の様子



式典後は、来賓各位によるテープカットが行われ、その後、本船の機能や設備を実地に紹介する内覧会が行われました。

## 2. 教育活動

### ○ 第 53 回商船祭の開催

令和 4 年 11 月 3 日に第 53 回商船祭が開催されました。コロナウイルスの影響を考慮して、入場制限が行われましたが、学生達の企画、運営のもと、無事に開催することができました。室内では、写真部による展示、茶道部による茶道体験等が行われました。第一体育館では軽音楽部による演奏や、カラオケコンテストやダンスコンテスト等の催しが行われました。メインストリートでは吹奏楽部、和太鼓同好会による演奏が行われました。

昭和 33 年から続く伝統行事の「手旗踊り」も行われ、会場は大いに賑わいました。



手旗踊りの様子

### ○ 第 2 学年対象の情報倫理・情報セキュリティ講演会を実施

令和 4 年 12 月 19 日に、第 2 学年の学生を対象とした情報倫理・情報セキュリティ講演会を開催しました。講演会では、山口県警察本部生活安全部生活環境課サイバー犯罪対策係の警察官の方を講師にお迎えし、「サイバーセキュリティ対策と SNS の利用について」という題目で講演していただきました。

講演では、サイバー犯罪と相談の現状から始まり、サイバーセキュリティの必要性、日頃頻繁に利用している SNS のトラブル事例、犯罪被害事例とこれらに関連する法律等も含

めてご説明いただきました。

講演を通して、適切な倫理観をもってインターネット技術を利用することの大切さを学ぶとともに、日々進化しているインターネット空間と現実世界でのあり方を考えさせられる時間となりました。

### ○ 「海事キャリア教育セミナー」の実施

令和 4 年 12 月 16 日に、「海事キャリア教育セミナー」を実施しました。本セミナーは 5 商船高専連携事業「次世代の海洋人材の育成に関する事業」の一環として、学生たちに将来のキャリアについて考えてもらう機会を与えることを目的とし、連携機関である全日本海員組合様の協力を得て実施したものです。



講演会の様子

セミナーでは、全日本海員組合より、国際局外航部副部長補、国際局外航部在籍専従執行部員、国内局国内部執行部員の 3 名の方を講師としてお招きし、「海技士の魅力と学生時代に行っておいて欲しいこと」というテーマで学生へご講演いただきました。

講演は商船学科 3 年生と 1、2 年生を対象に、内航と外航のそれぞれの仕事と生活の実際、そして全日本海員組合の役割についてのお話いただくとともに、多くの質問へも対応していただきました。

学生たちは、それぞれの学年において、将来を考える上で参考となることを多くつかんだことと思います。

### ○ 3年生日帰り研修の実施

令和 4 年 12 月 22 日、3 年生合宿研修の代替行事として 3 年生日帰り研修を実施しました。この行事は、平和の尊さを学び、健全な心身を育むとともに団体行動を通してクラス内外の学生および教職員との親睦を深めることを目的として開催されました。

大島商船高等専門学校から借上げバスに乗車して広島平和記念資料館前に到着後、各自が資料館内を見学しました。

原爆の被害に遭われた方々の記録や遺品を実際に目にする中で、戦争の悲惨さを改めて考え、平和の尊さを再認識することができました。

## 3. 地域連携活動, 公開講座など

### ○ 柳井まつりに出展

令和 4 年 11 月 23 日に、秋の収穫を感謝する「柳井まつり」が 3 年ぶりに開催され、本校は「缶バッジづくり」、「グラスハープの演奏」、「ロボットアームの操作」、「カレンダーづくり」、「スライムづくり」の体験コーナーを設置しました。当日は雨天という悪天候にも関わらず、多くの方にお立ち寄りいただき、理科に親しんでいただく良い機会となりました。

### ○ ロボットビーチクリーン対決イベントに本校学生が参加

令和 5 年 1 月 14 日、海ごみゼロ維新プロジェクト実行委員会(事務局:tys テレビ山口)が主催するロボットビーチクリーン対決イベントに、大島商船高等専門学校の学生チームとして参加、またイベントへの協力をしまし

た。本イベントはロボットと人間の共生をテーマに、地域にとって負荷が少なく楽しく新しいゴミ拾いのモデルの確立と一般への認知を目的とし、次世代を担う子どもたちとともに、ゴミ拾いにロボットを併用することでゴミ回収・運搬の効率を向上させる活動を行うものです。参加した小学生たちは海洋ゴミ問題へのロボットによる解決策について学びました。

### ○ 公開講座「ドローンとボートを駆使する！海ごみ調査隊になろう！in 大島商船高等専門学校」の実施

令和 5 年 2 月 19 日に公開講座「ドローンとボートを駆使する！海ごみ調査隊になろう！in 大島商船高等専門学校」を(株)フォーカスシステムズ(東京都)と共催で実施しました。

本公開講座では小学 2 年～中学 2 年の 15 人が参加し、本校の教員等が講師を務め、近隣の小中学生に向けて「海ごみ調査隊」として実験やワークを行い、身近な課題の解決への主体的な行動を促す次世代の育成を目的として行ったものです。

## 4. 学校 PR 活動, クラブ活動の表彰など

### ○ 第 38 回中国地区高等専門学校英語弁論大会で3位入賞

第 38 回中国地区高等専門学校英語弁論大会が令和 4 年 10 月 29 日、松江工業高等専門学校にて行われ、本校情報工学科 2 年の学生が暗唱部門で 3 位入賞という結果を残しました。放課後に英語教員の指導の下、日々練習をした成果が実りました。

### ○ 高専ロボコン 2022 全国大会にて特別賞を受賞

令和 4 年 11 月 27 日に、両国国技館で行われた「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト 2022 全国大会」にて、本校ロボット研究部のチームが出場しました。

本校は惜しくも 1 回戦敗退となりましたが、特別賞(セメダイン株式会社)を受賞しまし

た。競技テーマは『ミラクル☆フライ～空へ舞いあがれ!』。ロボットが自作の紙飛行機を飛ばして様々なオブジェクトに乗せて点数を競いました。

### ○ 第1回高専GCON2022で本校学生が優秀賞を受賞

令和5年1月15日に日経ホール（東京大手町）におきまして第1回高専 GIRLS SDGs × Technology Contest（通称：高専GCON2022）が開催されました。

このコンテストは、SDGsを中心としたさまざまな社会課題の解決に向けた技術開発・アイデアの提案を行うコンテストで、高専機構・日経・協賛企業が連携して次代のイノベーションを担う高専生の「社会課題の探求（SDGs）教育」と「女性技術者・研究者を増やす」ことに取り組むプロジェクトです。90エントリーチームの中から、書類・面談の一次審査を経て、10チームが本選に選出され、日経ホールにおいて最終プレゼンテーションが行われました。情報工学科の北風裕教教授が指導するコンピュータ部のチーム（Smart Searcher 開発 Lab）が海洋ごみ回収システム『Smart Searcher Next』を発表し、『優秀賞』、『高専創立60周年記念賞』を受賞しました。

### ◎おわりに

本年は昨年度までコロナ禍により中止していたイベントを実施することができました。

また、本記事にも掲載しましたが、令和5年3月13日に新しい「大島丸」の引き渡し、同年3月19日には「大島丸」竣工記念式典、内覧会、祝賀会を実施しました。

来年度からはいよいよ新しい「大島丸」による練習船実習や学校PR活動が始まります。体験航海の機会もございますので、その際は是非、新しい「大島丸」を体験してみてください。

皆様におかれましても、健やかにお過ごしなれますようお願いいたします。

（商船学科 渡邊 武 記）

## 小松会だより

### ○ 消えうる「詰襟・三つボタン制服」の展示について

創立以来、入学時の男子制服は、濃紺詰襟、3つ袖ボタンを守って参りました。

その詰襟制服が令和7年以降、消滅することになりました。改変直前までは、3学年までは詰襟、商船学科が高学年時大型練習船実習に赴くべく、制帽付きダブルとしたことから、工業学科もそれに習い、4学年時よりダブルとし、男女学生は1学年から卒業まで制服で登校しておりました。一方、他の高専では、3学年まで制服を課し、4学年以降は私服といった制度です。1着の購入費用10万円近い2つの制服を買い求める保護者の負担もあったことより、本校も他高専のパターンに改変したものです。改変後は、入学時から3学年までが男子ダブル・女子がブレザー、4学年より上はセレモニーや就活時にはスーツ、それ以外は私服登校となっております。

こうしたことから、資料館にこの「消えうる詰襟制服」を展示することになりましたので、お知らせ致します。



### ○ 【報告】帆船「みらいへ」での学生ボランティア活動

～徳山下松港開港100周年記念事業 2022年11月～

2022年（令和4年）11月5日（土）～6日（日）の2日間、当校在校生より11名（5年生1名、3年生5名、2年生6名）が、徳山下松港開港100周年記念事業のため同港 晴

海埠頭に着岸した帆船「日本丸」、同「海王丸」、同「みらいへ」のうち「みらいへ」に、学生ボランティア行いました。

### ○ 鹿児島商船学校練習船「霧島丸」遭難慰霊碑 献花・献杯・清掃活動（令和4年 10月 16日）

この度、海洋会鹿児島支部が主体となり、令和4年10月16日（日）鹿児島商船学校練習船「霧島丸」遭難慰霊碑の美化清掃活動が行いました。海洋会会員・小松会鹿児島支部会員・他校出身の全船協会会員と非会員と一部の家族（奥様・子供達）約25名が参加しました。

単に清掃だけでなく、慰霊碑前で御霊に安全を誓う式典を昼食前に実施し、献花・献杯で犠牲者を悼むとともに、最後に全員で「白菊の歌」を声高々に唄って式典を終えました。昼食の際は、参加者の皆様と懇親を深める事もできました。



### ◎ 同窓会小松会鹿児島支部より

・N47 野元準之助

（野元準之助氏は、昭和21年3月官立商船学校のうち2校（粟島・鹿児島）が廃止され、鹿児島商船学校の廃止に伴い、同校の生徒全員が大島商船学校に転籍されました。その時の在校生です。現在、鹿児島商船学校の同窓会は皆さんご高齢になり同窓会は解散となりましたが、野元準之助氏は最後の鹿児島商船学校同窓会会長を務められました。）

- ・N67 堀ノ内 仁   ・E67 田中久雄
- ・N71 大迫哲哉   ・E72 池上浩一
- ・N110 城戸裕晶

以上6名が参加いたしました。（敬称略）

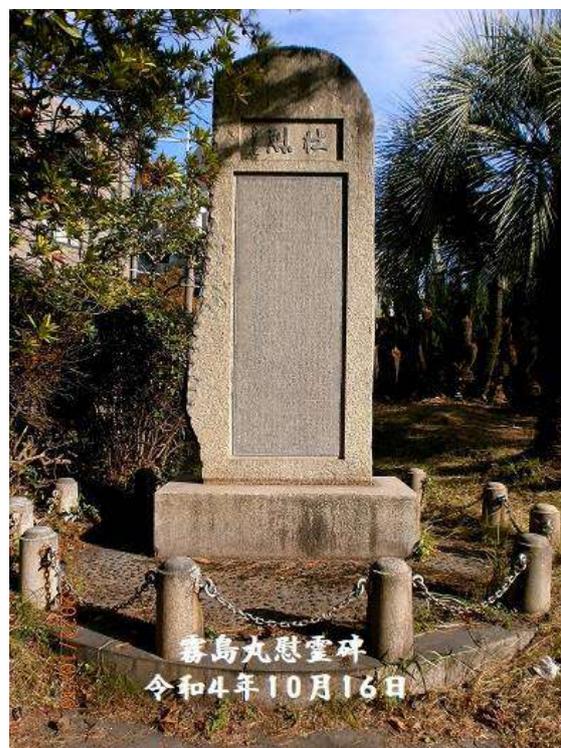
### ◎ 鹿児島商船学校練習船霧島丸海難事故について

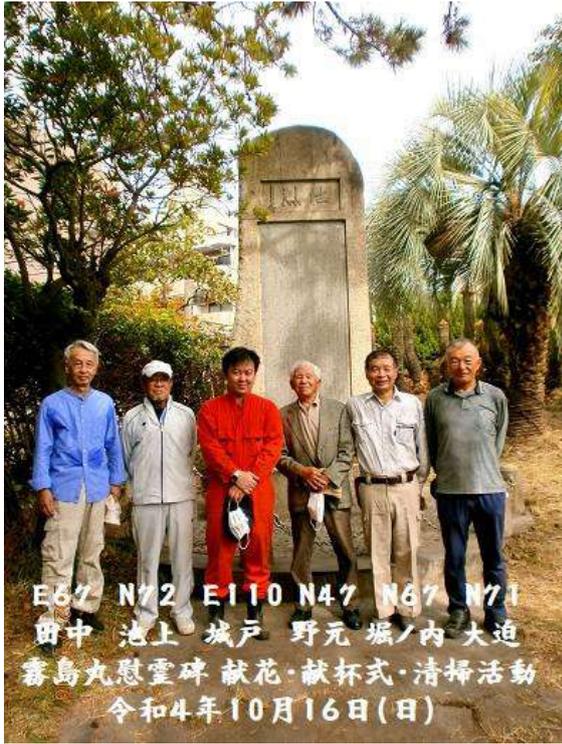
昭和2年3月9日、現在の鹿児島大学水産学部の場所にありました県立鹿児島商船学校の練習船「帆船霧島丸（木造997GT）」が、千葉県吠埼沖で荒天のため遭難し、白濱重雄船長以下53人全員が死亡するという痛ましい海難事故がありました。

当時、全国にあった県立商船学校の練習船は木造船で海難事故も多く、この事故を契機に昭和5年に大型鋼船練習帆船「日本丸」と「海王丸」が建造されました。また、その運行を管理する航海訓練所が新設されました。

昭和4年6月、校庭に霧島丸殉職者の功績を永く伝えるために、霧島丸遭難慰霊碑（香川県産の奄治石）が建立されました。題字は元帥伯爵 東郷平八郎閣下、碑文は鹿児島県立第一高等女学校教諭 小松文雄氏。4年後には、霧島丸海難100年を迎えます。

（文責 N67期 堀ノ内 仁）





(同窓会理事:山口伸弥)



# 弓削商船高等専門学校

## ○ 商船学科学生向けに英会話教室実施

本校では毎週月曜日と木曜日の週 2 回 2 時間、商船学科の学生向けに英会話教室を実施しています。

これは、商船系高等専門学校 5 校共同で実施している「次世代の海洋人材の育成に関する事業(人材育成)」の一環として実施しているものです。また実施にあたって全日本船舶職員協会からもご支援いただいています。

参加は自由としていますが、毎回多くの学生が参加しており、ネイティブの講師と楽しみながら英語を学んでいます。



## ○ 複数学年での弓削丸実習実施

本校では、商船学科の弓削丸実習において、複数学年で実施する実習を取り入れています。

本年度は、9月27日～29日、10月4日～6日、10月18日～20日、10月25日～27日の日程で、商船学科3年生及び5年生の合同実習を実施しました。

本実習は、近年薄れている他学年との交流やコミュニケーション向上をめざして商船系高等専門学校5校の中で本校が先行実施しており、今後、5校共同で実施している「次世代の海洋人材の育成に関する事業(人材育成)」のサブプロジェクト内で実習内容等を検証したうえで、他の4校でも合同実習導入に向けて検討を実施

していく予定としています。

なお、当初は、3年生、5年生とも緊張している様子でしたが、バディを決め、常に実習中一緒に行動を行うことで、両学年の学生たちのぎこちなさは薄れていき、実習が進むにつれ、先輩後輩の良い関係を築いていっているようでした。



## ○ 防災リーダー育成研修会開催

11月10日(木)、本校アセンブリホールで防災リーダー育成研修会を開催しました。

この研修会の目的は学生会役員、寮生会役員、クラブ・同好会リーダーを対象に、災害時に積

極的に対応できる防災リーダーとしての自覚、認識を高めることを目的に開催され、合計 20 名の学生が参加しました。

今回は、東日本大震災で実際に被災され、いわき市主催のスタディツアーで語り部として活躍されている、大谷 慶一さんを講師として招きました。地震発生時から津波襲来までの避難の様子や、救助活動についての説明があり、災害発生時のさまざまな課題や教訓を教えてくださいました。

また、災害に対して自助（自分の命を守る）の大切さを教えていただき、いかにして「逃げるスイッチ」を押すか、日常生活での備えやイメージトレーニングの話もあり、今後の防災活動をより一層図るための貴重な講演となりました。

参加した学生からは、普段聞くことのできない貴重な話を聞くことができ良い経験になりましたと感想が寄せられ、学生たちの防災に関する意識を高める機会となりました。



### ○ キャリア教育フォーラム開催

12月3日（土）、本校第1体育館において、商船学科3年生、電子機械工学科と情報工学科3年生・4年生、専攻科1年生の学生を対象としたキャリア教育フォーラムを開催しました。

学生はメモを取るなどして、企業の担当者の説明を熱心に聞いていました。

参加した学生からは、「将来を考える良い機会となった」「魅力的な企業と出会えることができた」などのコメントがありました。

今後の進路やキャリアについて考える貴重

な機会となりました。



### ○ 練習船弓削丸代船起工式

令和4年12月12日（月）、三菱重工マリタタイムシステムズ株式会社において、練習船弓削丸代船起工式が挙行され、本校教職員、本校同窓会長、商船系高専校長及び全船協会長ら 23 名が出席しました。

同船は令和5年10月に同造船所で進水し、令和6年3月に引き渡し予定です。





(練習船弓削丸 森瑛太郎 記)

## ○ キャリア教育セミナー実施

令和5年1月12日(木)、商船学科1~3・5年生を対象に「キャリア教育セミナー」を実施しました。

本セミナーは商船系高等専門学校が連携して実施している「次世代の海洋人材の育成に関する取組」の一環として実施され、本校に海技教育機構 航海訓練部 木戸 秀太郎氏を招き、講演いただきました。

密を避けるため、1・2年生は講演会場で、3・5年生は教室から聴講しました。

講演では、練習船実習に取り組むにあたっての心構えや、日本の船員と船員教育について分かりやすく説明していただきました。

その後、船内生活、実習風景、船内設備について、また、海技教育機構職員として活躍する本校卒業生の経歴、業務内容、出産、育休後など、実際の写真を交えながら紹介され、学生は関心を持って聴講していました。

乗船実習を控えている学生、就職先を検討している学生には、実習内容と将来を検討できる臨場感のあるご説明をいただき、大変貴重な機会になりました。



## 弓削商船高専同窓会

### ■ 創基120周年記念支部長会議が開催

令和4年11月26日(土) グリーンヒルホテル尾道ハーバースペースにおいて、創基120周年記念支部長会議が開催されました。

会議には各支部長、相談役、本部顧問など12名が参加されました。

会議の内容は次の通りで、会長挨拶の後、同窓会に多大なる貢献をされておられる戸田順一郎氏に感謝状と記念品を授与し、会長から感謝の意が述べられました。

戸田氏は本校に対しての思い出が人一倍強く、色々な形で常日頃より温かいご支援を頂いており、同窓会としては大変ありがたく、心より感謝を申し上げます。

各支部役員からは、コロナ禍で支部主体のイベント等が開催できない等の支部の状況が報告されました。次年度6月、コロナ感染症の状況を鑑みながら尾道支部担当で総会を開催予定です。

1. 会長挨拶
2. 戸田相談役感謝状・記念品授与
3. 120周年事業報告
  - (1) 式典
  - (2) 田坂初太郎氏銅像建立
  - (3) 船歌集DVD作成
  - (4) 込山氏講演会
  - (5) 寄付額について
4. 令和4年度弓削商船同窓会役員
  - (1) 新役員紹介

(2) 各支部紹介および報告

5. その他

(1) 新々3級制度及び、商船学科5年制について

(2) 新弓削丸の建造状況

(3) 確認のメールについて

(4) 祝電、弔電について

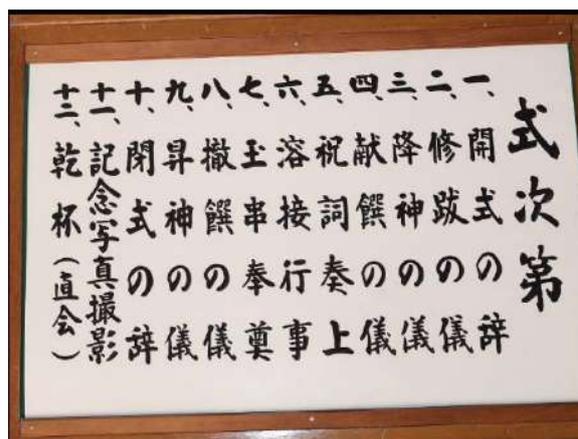
6. 閉会の言葉 (次年度総会担当尾道支部長)



支部長会議開催の様子



戸田相談役感謝状贈呈



修祓の儀



溶接行事(イニシャルサイン)

■ 弓削丸代船起工式が挙行

令和4年12月12日(月)、三菱重工マリンシステムズ株式会社(岡山県玉野市)において、練習船弓削丸代船起工式が挙行され、本校教職員、本校同窓会長、商船系高専校長及び全船協会会長ら23名が出席しました。

起工式は以下の通り執り行われ、工事の安全が祈願されました。

今後、令和5年10月に同造船所で進水し、令和6年3月に弓削商船高専へ引き渡される予定です。



玉串奉奠



記念撮影

■ 令和5年度今治支部新年会が開催

令和5年1月28日(土)、今治国際ホテル2階クリスタルホールにおいて、令和5年度今治支部新年会が開催されました。

新年会では、冒頭に今治支部長の柏木昭彦様からのご挨拶、続いて同窓会長柏木実様からのご挨拶の後、乾杯の音頭を御手洗宏様によって取られました。

また、会の途中には、弓削商船高専勤務の教職員から学校の近況、弓削丸代船建造の様子が報告されました。乾杯後は終始和やかな雰囲気、参加した約90名の同窓生は再会を誓い合いながら、盛況のうちに閉会となりました。なお本会は、通常の感染対策を施すと共に、会場にできる限りのスペースを設け、テーブル席の人数制限を行うなどホテルからの協力体制の元で挙げております。

最後に今治支部の活動にご理解を頂き、ご寄付並びにTシャツご購入して頂いた皆様、衷心よりお礼申し上げます。



今治支部長挨拶



新年会の様子

■ 同窓会事務局

電話(学校代表) 0897-77-4606

FAX 0897-77-4692

メール info@yuge-kosen.com

同窓会事務担当 田房 友典 (I2期)



# 海技教育機構

## ○ 乗船実習

令和4年10月から令和5年2月までの5ヶ月間、航海科4年生は練習帆船「日本丸」に、機関科4年生は練習船「銀河丸」に別れて乗船実習を行いました。

本年度からは陸上代替措置を伴わない乗船実習の実施ができるようになったものの、ひとたび船内で新型コロナ罹患が発生した場合には、実習訓練の一時中断を余儀なくされる場合もあることから、実習生にとって一番の楽しみである上陸を制限するなど、未だ厳戒態勢のなかで実習訓練を実施せざるを得ない状況が続いております。

「日本丸」における遠洋航海訓練においても外地への上陸を行わない長期航海実習として実施されました。

残念ながら外地への寄港は適わなかったものの、長期航海実習で一回り大きく成長してくれたと思います。

次年度からは、外地寄港を含む遠洋航海実習の再開を見込んでおります。

アフターコロナに向けて、練習船現場の様々な制約が少しでも解除できるよう検討を続けてまいります。



カッター—銀河丸



日本丸天測



銀河丸機関科実習



日本丸下船

民法改正により、成人年齢が18歳に引き下げられましたが、地方自治体の大部分が二十歳を対象に祝賀行事を行っていることから、

「日本丸」・「銀河丸」とともに、今年度二十歳を迎える実習生を対象に「二十歳を祝う会」を開催しました。船長から成人の証が贈呈され、皆で祝福しました。



日本丸成人式



銀河丸成人式

### ○ 海王丸 鹿児島港で乗船型の海洋教室を開催

令和5年1月21日(土)、鹿児島停泊中の「海王丸」で、約3年ぶりに乗船型の海洋教室を開催しました。



鹿児島海洋教室

当日は、対岸の桜島の稜線がくっきりと見える晴天にも恵まれ、絶好の海洋教室日和となりました。

参加者たちの表情からは、船上からそびえるマストを見上げ、(高さに)びっくりする様子や、恒例の「椰子摺り」を楽しそうに行っている様子を垣間見ることができました。

将来、参加者の中から船員を目指す方が出てくると、とてもうれしく思います。

令和5年4月から6月までの乗船実習の予定は次のとおりです。

#### ○ 日本丸

・海上技術学校4年

4/1 乗船、4/5 東京発、4/13～4/17 神戸、4/25～4/29 広島、5/8～5/12 鹿児島、5/19～5/23 大阪、5/30～6/3 横浜、6/7 東京着、6/10 下船

#### ○ 海王丸

・大学(航海・機関)5年

・海技大学専攻(航海・機関)2年

4/1 乗船、4/4 東京発、4/7～4/8 横浜、4/8 横浜発(遠洋航海)、5/5～5/10 シンガポール、6/5 東京着、6/10 下船

#### ○ 大成丸

・海上技術短期大学(波方)2年

4/1 乗船、4/4 横浜発、4/11～4/14 東京、4/21～4/25 神戸、5/2～5/6 広島、5/16～5/20 神戸、5/29～6/2 名古屋、6/9 東京着、6/10 下船

#### ○ 銀河丸

・海上技術短期大学(清水・宮古)2年

4/1 乗船、4/5 横浜発、4/10～4/14 東京、4/20～4/25 函館、5/1～5/6 伏木富山、5/13～5/18 佐世保、

5/27～6/1 鹿児島、6/7 神戸着、6/10 下船

## ○ 青雲丸

・高等専門学校（航海科・機関科）6年  
4/1 乗船、4/4 東京発、4/11～4/15 神戸、4/24～  
4/28 別府、5/6～5/10 佐世保、5/18～5/20 鹿児島、  
5/22～6/2 広島、6/9 東京着、6/10 下船

## ○ ご支援のお願い

ご承知のとおり、独立行政法人海技教育機構は、船員養成のため全国 8 校の学校での学科教育と練習船 5 隻による航海訓練を通じた一貫教育の実施に加え、商船系大学や高等専門学校などの船員教育機関の学生に対する航海訓練を通じ、海運業界のニーズに応じた新人船員を養成するとともに、水先人の養成や船員の実務教育を通じた優秀な海技者の養成を行う我が国最大の船員教育機関として平成 28 年に発足しました。

一方で海技教育機構は、非常に厳しい財政事情の中で経営基盤の安定を図り、船員教育訓練をより充実させ、日本を支える優秀な船員の育成に努めるため、令和 2 年度より寄附金制度及び賛助会員制度の本格運用を開始しました。

日本の船員教育のため、皆様のご支援が必要です。当機構の教育・航海訓練・研究業務・海事広報等の活動へのご理解とご賛同をいただき、船員教育機関として、より社会に貢献するためにも、皆様の暖かいご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## ○ 寄附金制度

海技教育機構では以下の 3 タイプの寄附金制度があります。寄附者は個人、法人を問いません。

- (1) 使途特定寄附金等
- (2) 募集特定型寄附金
- (3) 一般寄附金等

## ○ 税制上の優遇措置について

海技教育機構は、所得税法施行令第 217 条第 1 項第 1 号及び法人税法施行令第 77 条第 1 項に掲げる「特定公益増進法人」ですので、ご寄附にあたりましては、税法上の優遇措置を受けることができます。

寄附金制度及び賛助会員制度の詳細につきましては、当機構のホームページにてご説明をさせていただきます。

海技教育機構 HP : <http://www.jmets.ac.jp>



企画調整部企画課 間島 良博



# 次世代の海洋産業人材の育成に向けて

事務局

(公財)笹川平和財団 海洋政策研究所 Ocean Newsletter 事務局では、海洋の重要性を広く認識していただくため、海洋に関する総合的な議論の場を皆様に提供するために、「Ocean Newsletter」を発行しています。同事務局から転載許諾をいただきましたので Ocean Newsletter 第 529 号から「次世代の海洋産業人材の育成に向けて」 著者 東京大学大学院新領域創成科学研究科海洋技術環境学専攻准教授 和田良太 様の記事をご紹介します。ご厚意に感謝申し上げます。

脱炭素の潮流、安全保障上の情勢変化、海洋環境の保全への関心の高まりの中、わが国では次世代の海洋産業を担う人材育成が急務となっている。求められる人材の規模および多様な専門性を実現し、また技術革新を進めていくには裾野を広げる取り組みと産業をリードする博士号を持つ人材が重要であり、東京大学では産学連携・異分野連携の場として「柏海洋フォーラム」に取り組んでいる。

## 求められる海洋産業人材の育成

北海油田開発で栄えたノルウェー・スタヴァンゲルの街を訪れると多くの海洋開発関連企業が拠点を構え、港には大型作業船が停泊するなど海洋開発の姿を至るところで目にする。海底油ガス田開発の技術・インフラ・経験・人材を基盤として、洋上風力発電などの新たな海洋利用が展開されている。

一方で日本は、周辺海域に海底油ガス田の開発フィールドがほとんど存在しなかったこともあり、諸外国と比較して関連産業が成熟していない。このため海洋利用の実現には、それを担う新たな産業の創成が求められる。特にその原動力となる人材育成が必須であり、2015年の「海の日」の式典において安倍晋三内閣総理大臣（当時）から、将来的に予

想されるさらなる産業拡大に対応するべく、海洋技術者を2030年までに当時の約5倍の1万人まで増やすことを目指す、というメッセージが発せられた。求められる海洋技術者は様々だが、本稿では次世代の海洋産業人材に着目し、海洋資源開発や海洋エネルギー利用の技術者そして技術開発を担う人材の育成に焦点をあてる。

## 次世代の海洋産業人材育成の難しさ

海洋利用プロジェクトは、調査・探査・掘削、施設の設計・建造・施工、運用期間中の運転・保守、そして撤去まで長期間におよぶ巨大なものとなる。開発フェーズに応じた多様な技術とスキルを満たすために、求められる人材の規模と専門性を見定めた戦略的な人材育成の取り組みが必要になる。例えば英国では、洋上風力サプライチェーン全域を検討し、2032年に36,000人という雇用予測に対して、技術分野の整理と技術者の育成・確保に関する計画的な取り組みが議論されている。

諸外国の海洋人材育成の取り組み事例を紹介する。2010年代に急速にニーズが高まった海底油ガス田の生産システムを担うサブシー技術分野の人材育成に取り組む Global Subsea University Alliance では、ヒ

ューストン大学やシンガポール国立大学、そして関連企業が連携して、教育プログラムの体系化・標準化が取り組まれた。また英国では、海洋再生可能エネルギー分野の人材育成のために IDCORE (Industrial Doctoral Centre for Offshore Renewable Energy) という博士課程プログラムが運営されている。高度な技術課題克服には、研究エンジニアの育成が必要と考え、大学の研究活動と産業の実プロジェクトの両方を備えたプログラムとなっている。これら事例の共通点として、人材ニーズを持つ産業界が運営に携わっている点、複数大学が連携して多様な技術分野を網羅的・戦略的に育成している点が挙げられる。

## 次世代の海洋産業人材に向けた裾野の拡大と博士人材の育成

次世代の海洋産業人材の育成に向けて求められる取り組みについて、裾野を広げるための取り組み、そして技術革新をリードする人材について考えていく。

海洋利用には、共通的かつ中核となる浮体設計、係留設計、気象海象学、海中ロボティクスなどの基盤海洋技術が存在する。また巨大プロジェクトを成功させるためのリスク管理やファイナンス、契約などプロジェクトマネジメントの基礎も重要となる。こうした海洋利用の基礎分野を習得する人材を増やし、海洋人材の裾野を広げることが人材育成の基盤になると考えられる。

東京大学では、海洋の利用と保全に関わる技術や政策科学を発展させつつ、海洋新産業の創出や海洋の環境創造に寄与する教育・研究体制を確立することを目的に、新領域創成科学研究科海洋技術環境学専攻が柏キャンパスに 2008 年に設立された。また主に海底油ガス田開発分野において技術動向を学び、

また新たな技術開発に取り組む技術者やプロジェクトマネジメントができる人材を育成するため、2013 年より資源開発会社、海運会社、造船会社、エンジニアリング会社、船級協会から支援を受けて、海洋開発利用システム実現学寄附講座が運営されている。海洋工学や資源工学に関わる基礎講座や、現場経験のある企業や海外エンジニアによる技術セミナーが開催され、開発された教育プログラムは寄附講座終了後も大学・大学院講義、リカレント講義に活用されている。今後も技術革新が進む同分野において、教育プログラムを産学連携によりアップデートする仕組みを構築し、海洋人材を継続的に輩出していくことが重要である。

裾野を広げるうえで、新たな人材の育成だけでなく、幅広い異分野から海洋分野に人材が集まる仕組みも必要となる。まずは海洋利用の分野に関心を高めていき、幅広い人材にアプローチする仕組みが必須である。そして異分野から海洋分野に参画するためにリカレント教育制度の充実も必要となる。特に優れた人材を惹きつけるフラグシップとなる魅力的なプロジェクトが重要になると考えられる。

複雑化・高度化する海洋利用プロジェクトには、異分野技術を融合したオープンイノベーションやデジタルトランスフォーメーション(DX)など、更なる技術革新が求められている。まだ正解の姿が描かれていない新たな海洋利用を実現するには、幅広い知識と観察から仮説を立て、その検証と考察を繰り返す中で、技術革新をリードできる人材が求められる。これは科学研究の基本プロセスであり、博士課程で鍛えられる能力である。また海洋技術と情報技術の融合など既存の専門分野の枠に捉われない分野の研究を牽引できるのは博士号を持つ人材(博士人材)だと考えられる。実際に海外では、革新的なベンチャ

一の多くの代表者が博士号を持つなど、博士人材が産業革新を牽引している。一方で、日本では企業の研究者における博士号取得者の割合は諸外国と比べて低く、また博士課程に進学する学生も減少している。その背景として、経済的負担や将来キャリアへの不安、また産業界とのミスマッチなどが考えられている。

海洋分野では産業界と連携し、博士人材の減少による負の連鎖を断ち切る必要がある。それには産学連携によるテーマ設定、新たな専門分野の育成、多様なキャリアパス実現を支援する仕組みが必要である。また海外のように起業という道もある。東京大学では、産学連携・異分野連携の場として「柏海洋フォーラム」を開催し、大学における研究紹介や現場ニーズを持ち寄った議論をする中で、新

たな技術開発テーマの創出や、また魅力的な研究活動の発信により協創のプラットフォームとして機能することで、博士課程進学者の増加を目指している。

最後に、海洋人材と海洋産業の発展は、鶏と卵の関係である。ここに正のスパイラルを生み出す必要があり、人材育成の基盤を整備することにより、両者の健全な発展に期待したい。人材育成は長期計画であり、短期的な業界環境に左右されない確固たる長期ビジョンと戦略的な取り組みが重要となる。特に大きな規模と多様な専門性をもった人材育成を実現していくために、効果的に海洋人材の裾野を広げ、また世界トップレベルの高みを目指す人材も育てる、多面的で総合的な人材育成が重要となる。(了)

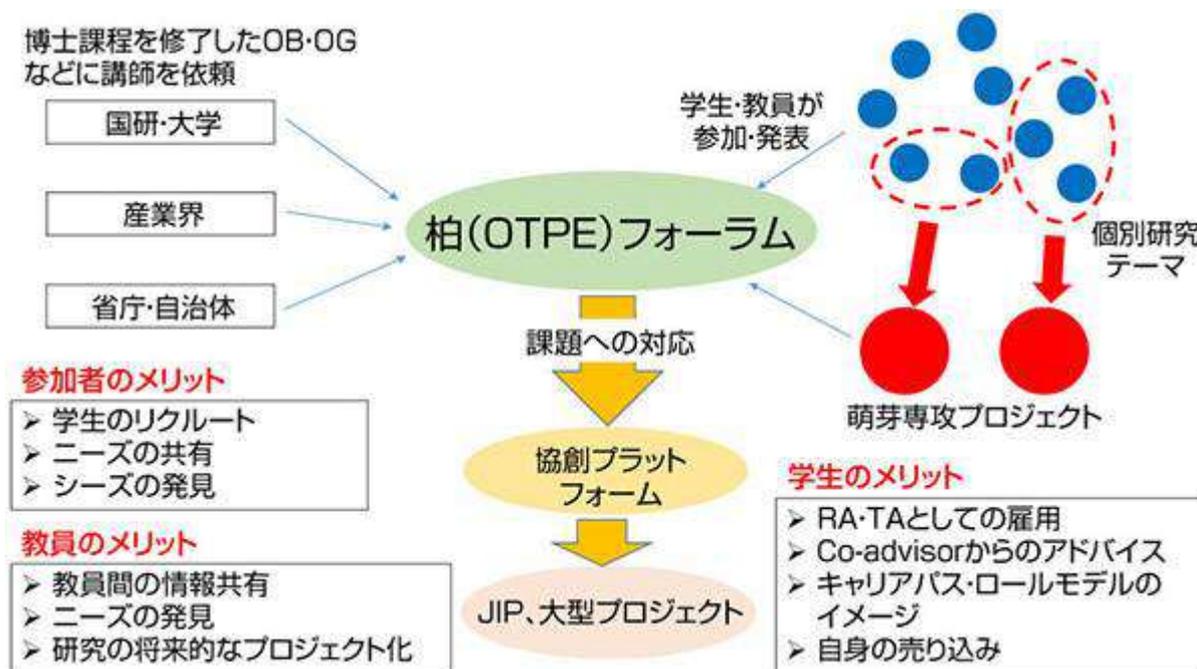
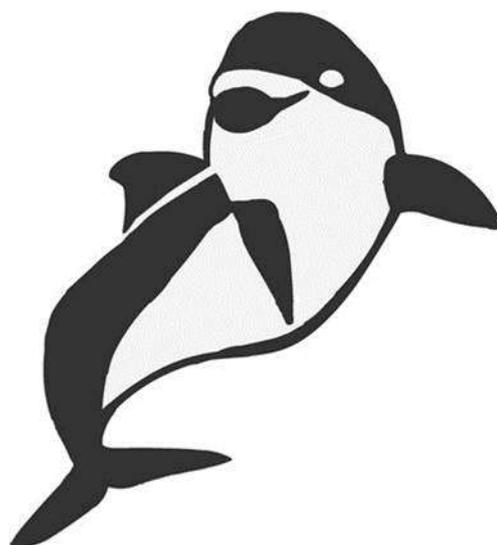


図 東京大学柏海洋フォーラムの目指す姿

## 本部・支部だより

- 2023/1/23 衆議院議員 衛藤征士郎先生  
新春賀詞交歓会 ANA インター  
コンチネンタルホテル東京  
(広重)
- 2023/1/25 みずほ証券来会  
(広重・飯島)
- 2023/1/25 16:00 参議院議員 中西祐介先  
生への新年ご挨拶 喜多村秘書  
対応  
(広重・加藤・飯島)
- 2023/1/25 17:00 参議院議員 赤池誠章先  
生への新年ご挨拶  
(広重・加藤・飯島)
- 2023/1/25 18:00 日本船主協会・日本造船  
工業会 新年賀詞交換会 海運  
クラブ (広重)
- 2023/2/1 5 校商船高専校長懇談会 千代  
田万世橋区民館  
(広重・加藤・飯島)
- 2023/2/1 第3回 HTW 調査検討に関する  
専門委員会に Web 参加  
① MSC106 結果報告  
② HTW9 への対応  
③ その他  
(飯島)
- 2023/2/2 令和4年度国立高専における次  
世代の海洋人材育成に関する協  
議会 学術総合センター会議室  
(広重)
- 2023/2/10 第6回高専・海事教育フォーラ  
ム 神戸国際会議場  
(広重・加藤)
- 2023/2/15 衆議院議員 衛藤征士郎先生  
Early Bird Seminar 帝国ホテ  
ルにて  
(広重)
- 2023/2/28 大島商船高専評議員会 大島商  
船高専多目的メディア教室  
(広重)
- 2023/3/2 (公財)海技教育財団 第34回  
理事会 海運ビル  
(広重)
- 2023/3/8 (公財)日本殉職船員顕彰会  
第43回通常理事会 海運ビル  
(広重・加藤)
- 2023/3/17 大島商船高専 電子機械工学  
科、情報工学科、専攻科 卒業  
式  
(広重)
- 2023/3/22 帆船日本丸記念財団 評議員  
会  
(加藤)
- 2023/3/24 衆議院議員 衛藤征士郎先生  
Early Bird Seminar 帝国ホテ  
ルにて  
(広重)
- 2023/3/25 2022年度第三回理事会開催  
(千代田区民館 3階和室洋室 A  
会議室)



## 賛助会員名簿

○ 賛助会員の方々に当協会を支援していただいております！

一般社団法人 全日本船舶職員協会

### 賛助会員名簿 2023年4月現在

広島商船校友会	株式会社ハマテクノサービス
弓削商船高専同窓会	有限会社システムエンジニアリング
北斗会事務局	日本ガスライン株式会社
大島商船高専同窓会	名阪船舶株式会社
鳥羽商船同窓会	戸田汽船株式会社
株式会社コトラシステム	株式会社商船三井内航
北星海運株式会社	菅原汽船株式会社
山友汽船株式会社	神戸マリーン工業株式会社
株式会社B&Sエンタープライズ	株式会社マリントランスシステム
株式会社SEALS	正栄汽船株式会社
栗林商船株式会社	かもめプロペラ株式会社
名古屋メッキ工業株式会社	東興海運株式会社
八馬汽船株式会社	鹿児島船舶株式会社
大四マリン株式会社	摂予汽船株式会社
NSユナイテッド内航海運株式会社	日本船舶表示株式会社
太洋産業貿易株式会社	ダイハツディーゼル株式会社
旭運輸株式会社	三陸運輸株式会社
上野トランステック株式会社	兵機海運株式会社
株式会社 ウシオ	協同商船株式会社
日本栄船株式会社	日本油化工業株式会社
宮城マリンサービス株式会社	

## 2022 年度会費納入者芳名帳

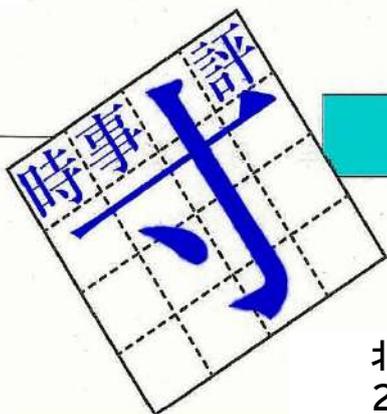
2023 年 4 月 17 日現在

<b>12月</b>	中里 隆太郎	内野 光博	<b>世話人入金</b>
<b>個人入金</b>	藤中 満	塩崎 一真	オーシャン
吉永 廉	高鍋 隆典	前田 安紀	トランス
花堂 太気	斉藤 勉	畑 辰幸	株式会社
桂 幹治	高橋 美和	角谷 綾真	松野 直高
加山 文治	柴田 周平	藤林 稜平	貞方 利彦
丁田 慎一郎	島村 栞一	<b>3月</b>	山本 勝昭
<b>世話人入金</b>	長谷川 雅俊	<b>個人入金</b>	田口 徹
商船三井オー シャンエキス パート株式会社	前田 裕	山本 悠太	山田 忠相
鈴木 剛也	<b>世話人入金</b>	鬼塚 珠明	元田 啓一
高田 尚志	玉井商船 株式会社	鬼塚 夕季愛	大竹 健士
阿部 大二郎	清崎 哲也	山中 亨子	安原 尚
商船三井フェ リー株式会社	石川 祐二	大木 一也	三村 宜寛
富山 幸弥	<b>2月</b>	堺屋 純	宮澤 優太
薄井 雄基	<b>個人入金</b>	小西 凪	薬師寺 尚人
廣瀬 潤一	木下 一延	鈴木 晴敏	吉岡 祐希
清水 洋平	岡本 直也	楠本 春太郎	<b>4月</b>
前田 龍弥	福畑 裕士	久米 竜太	<b>個人入金</b>
<b>1月</b>	岡本 篤	河野 壯尚	寺岡 龍彦
<b>個人入金</b>	森下 昂	藤村 昂大	振本 優隼
小池 信雄	松野 克昭	中尾 勇斗	橋之口 勉
岩田 來夏	山田 真依	竹本 了介	早崎 弘泰
西岡 優樹	大類 健三郎	鷺頭 真紗城	<b>終身会員</b>
	東方田 祐康	山田 剛史	小谷 佳秀
	三木 良祐		安達 昌弘

## 新規入会者

2022 年 12 月 13 日以降

鳥羽商船高専	富山高専
續石 波輝	新宅 陽介
坂本 拓真	
多部田 翔太	
秋元 圭	



### 北極域研究船 2026年就航予定

北極は、海氷面積が過去 35 年間で約 3 分の 2 になるなど地球温暖化の影響を受け、世界の気象や生態系にも大きな影響を及ぼしているが、観測データは不足している。日本はこれまで氷に覆われた海域の観測手段を持たなかったが、建造中の砕氷船「北極域研究船」が 2026 年度に就航する予定だ。

同船は、厳冬期を除けば北極海でも航行できる。気象観測のほか、海底の地形や生物資源の調査、堆積物の採取などが可能になる。

日本政府は収集データを各国と共有することを通じて、国際的な観測プロジェクトを主導することを目指す。

政府が北極海の観測を急ぐのは、海氷の減少に伴い、航路としての重要性が増していることもある。日本と欧州を結ぶ航路はスエズ運河経由の南回り航路があるが、北極海航路なら距離を約 6 割に短縮できる。輸送コストの削減のメリットだ。

(読売新聞)

ちなみに横浜～ロッテルダムの航路を比較すると

喜望峰経由	14,448 海里
スエズ運河経由	11,133 海里
北極海経由	7,010 海里

スエズ運河経由より短縮される距離は 37%にもなる。

### 表紙写真 大島商船高等専門学校練習船 大島丸

【表紙写真説明】当写真は「大島丸」が 3 月 13 日に三菱造船下関江浦工場での入魂式・引渡式を終えた後、下関市岬之町岸壁に回航する際に撮影したものです。この新たな「大島丸」の建造にあたり、後に続く多くの後輩たちに伝えるべく、できる限りに多くの記録を残したいと考えました。そこで、写真撮影や画像データの各種処理の技術に長けた、当校の本庄孝光技術専門職員、専攻科・電子・情報システム工学 2 年生の三浦聖学生、吉村勇輝学生の協力を得ながら建造過程の記録撮影を進めてきました。

この写真は三浦学生の撮影によるものです。三浦学生、吉村学生は、この 3 月に専攻科を修了して、4 月より社会人として巣立ちます。当校の電子機械工学科と専攻科で過ごした 7 年間の最後の 1 年間で、この「大島丸」の多くの建造の記録を撮って頂き非常に感謝しております。また、こうした経験が、彼らが今後電子情報分野の技術者として活躍していくための貴重な財産となり、また母校への良き思い出となってくれることを信じております。また、本庄技術専門職員は、当校の電子機械工学科を平成 6 年に卒業しております。本庄職員が学生時代に、先代の「大島丸」が、やはり三菱造船下関江浦工場で建造されていて、これを当時の教官に引率されて見学に行く機会があり、これが非常に強く印象に残っているということです。こうしたことから、今回の諸撮影やデータ整理にも、非常に多くのご尽力を頂きました。今後、本庄職員と協力しまして、この「大島丸」の建造過程の記録をしっかりとまとめていきたいと思っております。機会がありましたら、当会報にも寄稿をさせて頂きたいと考えております。

(大島商船高等専門学校・商船学科 千葉 元)

全船協 会報 152号 春季号

2023年5月発行

◇ 発行所：一般社団法人 全日本船舶職員協会 ◇ 編集兼発行人：加藤 信一  
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町三丁目 7 番 12 号 清話会ビル 2 階 B 室  
TEL 03-3230-2651 FAX 03-3230-2653  
E-mail:honbu@zensenkyo.com URL:https://www.zensenkyo.com



Tokyo Bay Licensed Pilots' Association

東京湾水先区水先人会

会長 足立和也

〒231-0023 横浜市中区山下町1番2 パイロットビル  
(代表・総務部) TEL(045) 650-3180 FAX (045) 663-4811  
(オペレーション部) TEL(045) 681-4081 FAX (045) 681-4090  
TEL(045) 681-4091  
URL : <http://www.tokyobay-pilot.jp>

株式会社 コトラシステム

代表取締役 望月正信

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1-12-13  
日本橋船佐ビル3階

電話 (03) 3245-6975  
FAX (03) 3245-6980  
E-mail: [cotrasystem@nifty.com](mailto:cotrasystem@nifty.com)



内海水先区水先人会

Licensed Inlandsea Pilots' Association

会長 高濱洋嘉

〒650-0034  
神戸市中央区京町72番地 新クレセントビル3階  
電話(078)332-7191 FAX(078)391-7157  
E-MAIL [info@inlandsea-pilots.jp](mailto:info@inlandsea-pilots.jp)

関門水先区水先人会

会長 長野茂夫

〒801-0841 北九州市門司区西海岸1丁目2番13号  
電話(093)332-2384(代)

船舶、船舶装備器具及び部品の販売、輸出。作業船の  
賃貸船舶修理、検査工事の請負及びコンサルタント。

K2 シップマネジメント株式会社

〒220-0023 神奈川県横浜市西区平沼1-13-14  
パークウエア横浜・壱番館306

電話 : 045-290-6082 FAX : 045-290-6916  
E-mail : [kani@ksh.biglobe.ne.jp](mailto:kani@ksh.biglobe.ne.jp)



名阪船舶株式会社

代表取締役 高橋 宏之

〒552-0022 大阪市港区海岸通3丁目2番2号

TEL 06-6572-6221 FAX 06-6574-0635

<http://www.meihansenpaku.co.jp>



Marine Trans System Co., Ltd.

株式会社マリントランスシステム

代表取締役社長 小林 悠

〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目1番5号  
セントラルビル2階 (fabbil内)

電話 050-3187-3610(代) FAX 03-6629-6290



伊勢三河湾水先区水先人会

ISE-MIKAWA WAN PILOTS' ASSOCIATION

会長 小鹿 邦博

〒455-0032 名古屋市港区入船二丁目4番6号  
名港ビルディング 17階

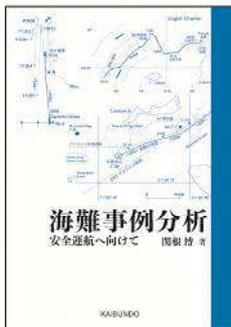
電話 : (052)304-8311 FAX : (052)304-8312

# 海事六法 2023年版

2023年1月末日現在の海事関係法令および条約196件を、海運／船舶／安全／船員／職員・審判／海上交通／海洋汚染／保安・その他／条約の9項目に分類して掲載。「海技試験」に必要な法令をすべて収録するとともに、口述試験場への持ち込みが認められている。また、海事代理士試験の規程法令科目にも対応した収録内容とし、実務にも役立つように配慮。

国土交通省海事局 監修

A5判 2192頁 定価5,280円(税込)



## 海難事例分析 -安全運航へ向けて-

船舶運航における最大の目的は、安全運航の達成であるが、最新のソフトやハードの利用にも関わらず、多くの海難事故が発生している。その原因を調べていくと、過去の海難と同様の原因が何度も繰り返されているのがわかる。本書は、過去の海難とその対応、船舶運航に関するマネジメントの役割、海難史からの教訓等をわかりやすく解説した。安全実務・運航管理に係る人にぜひ読んでもらいたい実務書。

関根博 著

A5判 270頁 定価3,960円(税込)

〒112-0005 東京都文京区水道 2-5-4  
TEL 03-3815-3291 FAX 03-3815-3953

## 海文堂出版

<http://www.kaibundo.jp/>  
e-mail: hanbai@kaibundo.jp

### 会員各位 2023年度通常総会 開催通知

1. 日 時 2023年6月10日(土) 14時00分～17時00分
2. 場 所 日本教育会館(一ツ橋ホール)会議室703号  
住所: 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 Tel: 03-3230-2834  
地図については本議案書の裏面を参照してください。
3. 議 題 第1号議案 2022年度事業報告(案)  
第2号議案 2022年度決算(案)  
報告事項 2023年度事業計画(案)及び予算(案)

本年度も新型コロナウイルス感染防止のため、参加者の密を避けるようできるだけ同封のハガキ等で「委任」または「書面表決」の総会手続きを行ってください。通常総会が成立するには、会員の半数以上の出席が必要となっています。尚、今回は総会後の懇親会は開催いたしません。

ファックスや電子メール・ホームページ・携帯メールで回答されても有効です。  
携帯メールの場合は、右のQRコードをご利用くだされば、簡単に送信できます。

